
花折断層帯地震被害想定調査

報告書

令和6年3月

京都府

目次

1. 地震被害想定調査の概要	3
1.1 目的	3
1.2 地震動予測	4
1.3 地震被害想定調査の概要	5
2. 被害想定結果	6
2.1 建物被害	6
2.2 屋外転倒・落下物の被害	9
2.3 人的被害	11
2.4 ライフライン被害	20
2.4.1 上水道の被害	20
2.4.2 下水道の被害	22
2.4.3 電力の被害	24
2.4.4 通信の被害	28
2.4.5 携帯電話の被害	32
2.4.6 都市ガスの被害	33
2.4.7 前回調査との比較	34
2.5 交通施設被害	36
2.5.1 道路橋の被害	36
2.5.2 鉄道の被害	38
2.6 生活への影響	40
2.6.1 避難者数	40
2.6.2 帰宅困難者	44
2.6.3 物資(備蓄品)	46
2.7 災害廃棄物	48
2.8 その他被害	50
2.8.1 エレベータ内閉じ込め	50
2.8.2 文化財	52
2.8.3 社会経済活動の中核機能への影響	54
2.8.4 複合災害	55
2.9 防災・減災対策の効果の試算	56

1. 地震被害想定調査の概要

1.1 目的

京都府では、平成 20 年に府内 22 の活断層による地震被害想定を行い、防災体制の構築や府民向けに啓発を行ってきたところであるが、公表から 15 年が経過した。

この間、社会基盤データ（人口や耐震化率等）が変化し、その結果被害状況にも変化が生じることが想定される。また、府内 22 の活断層による地震の発生確率が高まっており、防災体制を強化するなど対策を講じる必要がある。

以上のことから、新たな科学的知見や国などの動向を考慮し、府内最大の被害が想定される花折断層帯地震の被害想定を見直すとともに、発災から応急復旧までの時間の経過を踏まえた被害様相を作成し、防災体制の強化や社会活動の維持、早期復旧等の検討を実施することとする。

<地震被害想定の基本方針>

- ・地震動は、平成 20 年の京都府地震被害想定調査の予測結果を活用する。
- ・被害予測手法は、府域の地域特性を考慮しつつ、令和 3 年または平成 25 年の内閣府と令和 5 年の京都市第 4 次地震被害想定（実施年度：令和 4 年度、公表：令和 5 年 6 月）の被害想定手法を基本とする。
- ・京都市域の被害想定については、令和 5 年の京都市第 4 次地震被害想定を使用する。
- ・被害想定 of 想定シーンは冬・早朝（5 時）、夏・昼（12 時）、冬・夕方（18 時）とする。

表 1.1-1 被害想定 of 想定シーン

時間帯	設定理由
冬 5 時	多くが自宅で就寝中に被災するため、家屋倒壊による死者が発生する危険性が高い。 オフィスや繁華街の滞留者や、鉄道・道路利用者は少ない。
夏 12 時	オフィス、繁華街等に多数の滞留者が集中しており、自宅外で被災するケースが多い。 木造建物内滞留人口は、1 日の中で少ない時間帯であり、老朽木造住宅の倒壊による死者数は冬深夜と比較して少ない。
冬 18 時	住宅、飲食店などで火気使用が最も多い時間帯で、出火件数が最も多くなる。 オフィスや繁華街周辺のほか、ターミナル駅にも滞留者が多数存在する。 鉄道、道路もほぼ帰宅ラッシュに近い状況でもあり、交通被害による人的被害や交通機能支障による影響が大きい。

1.2 地震動予測

- ・地震動予測と液状化危険度は、平成 20 年の京都府地震被害想定調査の成果を活用する。なお、京都市域は平成 15 年の京都市第 3 次地震被害想定成果を活用する。
- ・以下、花折断層帯の断層諸元と震度分布図と液状化危険度予測を示す。

表 1.2-1 花折断層帯の断層諸元(京都府地震被害想定調査(平成 20 年))

断層の位置 (住所表記)	長さ km	幅 km	傾斜角 度	Mj	Mw	断層タイプ (変位)
京都市左京区～滋賀県高島市	46.5	16.14	85E	7.5	7.1	右横ずれ

Mj: 気象庁マグニチュード、Mw: モーメントマグニチュード

- ・震度 7 は、京都市北区・上京区・左京区・中京区・東山区・山科区・下京区の一部に分布する。
- ・震度 6 強は、京都市の市街地から宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、大山崎町、久御山町の一部にかけて分布する。
- ・液状化危険度は、京都市南部から河川(桂川、宇治川、木津川)沿いで高い。

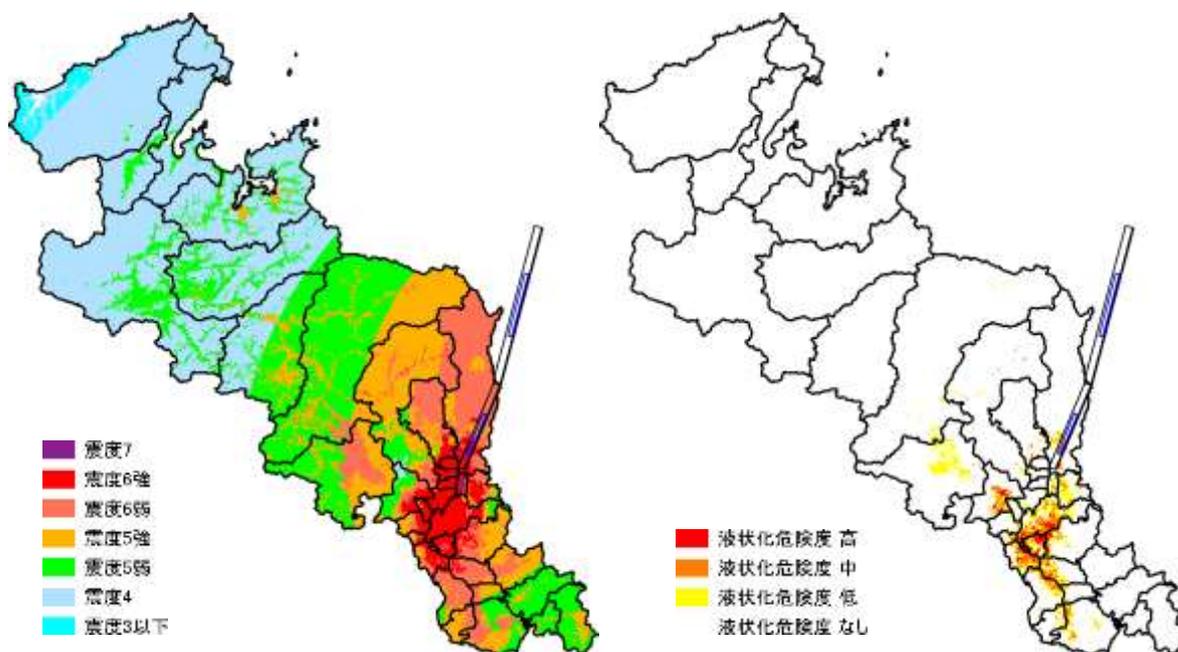


図 1.2-1 花折断層帯の震度分布図(左図)と液状化危険度結果(右図)
(京都府地震被害想定調査(平成 20 年))

1.3 地震被害想定調査の概要

- ・今回の被害想定調査の概要は次のとおりである。
- ・建物被害は、全壊 11 万棟・半壊 15 万棟・焼失 2.4 万棟（冬・18 時）であり、前回調査と比較して、焼失棟数以外は減少。
- ・人的被害は、死者 4.6 千人、発災直後の避難者として 24 万人であり、前回調査と比較して減少。
- ・これらは、近年の地震被害を考慮した最新の内閣府の手法を採用したことや、建物の耐震化率の向上が進んでいるためと考えられる。焼失棟数が増加した要因は、前回調査の京都市域で考慮していなかった「電気機器・配線からの出火」を考慮したことと、前回調査の京都市域外で風速を 2m から 4m と設定したことである。

表 1.3-1 建物被害・人的被害の想定結果

	建物被害			人的被害								
	全壊	半壊	焼失 (冬18時)	冬5時			夏12時			冬18時		
				死者数	負傷者	避難者	死者数	負傷者	避難者	死者数	負傷者	避難者
				人	人	人	人	人	人	人	人	人
棟	棟	棟	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
今回調査	110,710	147,050	23,500	4,560	33,830	202,820	2,820	56,820	207,820	4,530	34,920	239,820
前回調査	189,070	256,900	13,100	6,090	155,510	482,000	3,610	117,700	482,000	6,560	172,500	482,000

※前回調査の建物被害の焼失は、風速が 2m のものである。

- ・ライフラインの被害は、上水道管路の被害箇所数が 1.7 千箇所、下水道管路の被害延長が 470km、電力の停電軒数が 7.2 万軒、通信の被害回線数が 9.1 万回線、ガス供給停止戸数が 71 万戸である。前回調査と比較できない下水道を除く全てのライフラインで前回調査と比較して減少。これは、管路及び建物等の耐震化が要因である。

表 1.3-2 ライフラインの想定結果

	ライフライン									
	上水道			下水道		電力	通信	ガス		
	施設延長	被害箇所	断水率	施設延長	被害延長	停電軒数	不通軒数	支障世帯数		
	km	件	%	km	km	軒	軒	戸		
今回調査	13,100	1,730	51.0%	10,330	470	72,400	90,600	707,000		
前回調査	9,400	2,220	-	8,400	9840件	429,700	98,700	860,000		

※今回調査の電力、通信は、冬 18 時の被害数である。

- ・交通施設の被害は、道路橋の大被害（機能支障あり）箇所数が 40 橋と中・小被害（機能支障無し）箇所数が 500 橋で、鉄道の被害箇所数は新幹線の被害箇所数が若干数、その他鉄道が 700 箇所である。

表 1.3-3 交通施設の想定結果

交通施設			
道路橋		鉄道	
大被害箇所数	中・小被害箇所数	新幹線	その他鉄道
		被害箇所	被害箇所
40	500	*	700

※「*」は 0 ではないことを示す。以下同じ

2. 被害想定結果

2.1 建物被害

(1) 想定結果

- ・液状化、揺れ、急傾斜地崩壊、焼失による建物被害を算定した。
- ・結果は以下のとおりである。

表 2.1-1 建物被害（広域振興局）

行政区分	建物棟数	建物被害									
		全壊計	半壊計	液状化	揺れ		急傾斜地		焼失		
				全壊	全壊	半壊	全壊	半壊	冬5時	夏12時	冬18時
棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	
京都市	627,000	100,000	111,000	900	99,000	111,000	100	200	7,500	9,900	21,000
山城広域振興局	331,000	9,800	30,000	600	9,100	30,000	90	200	60	200	2,500
南丹広域振興局	132,000	800	5,600	50	600	5,300	100	300	0	0	0
中丹広域振興局	187,000	100	400	0	0	100	100	300	0	0	0
丹後広域振興局	96,000	10	50	0	0	0	10	30	0	0	0
計	1,373,000	110,710	147,050	1,550	108,700	146,400	400	1,030	7,560	10,100	23,500

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値及び京都市の結果と一致しないことがある。

表 2.1-2 建物被害（市区町村）

行政区分	建物棟数	建物被害										
		全壊計	半壊計	液状化	揺れ		急傾斜地崩壊		焼失			
				全壊	全壊	半壊	全壊	半壊	冬5時	夏12時	冬18時	
棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟		
京都市	北区	59,275	10,228	11,162	23	10,179	11,114	26	48	889	1,125	2,403
	上京区	41,374	12,984	10,088	7	12,977	10,088	0	0	420	535	1,142
	左京区	76,829	17,593	14,190	125	17,445	14,154	23	36	677	871	1,987
	中京区	44,231	10,707	9,646	6	10,701	9,646	0	0	574	729	1,561
	東山区	23,733	9,598	4,970	25	9,562	4,956	10	13	164	232	510
	山科区	57,222	5,424	10,598	118	5,292	10,572	14	26	675	982	2,124
	下京区	31,837	8,000	6,876	2	7,997	6,876	0	0	304	404	876
	南区	42,351	6,058	8,497	6	6,052	8,497	0	0	438	573	1,234
	右京区	90,931	1,868	7,940	25	1,831	7,914	12	26	1,626	2,040	4,308
	西京区	58,300	2,526	7,263	133	2,387	7,251	6	12	673	844	1,805
伏見区	100,970	15,062	19,911	446	14,607	19,894	10	17	1,090	1,553	3,368	
	集計	627,053	100,048	111,140	916	99,031	110,963	101	178	7,528	9,888	21,318
山城広域振興局	宇治市	76,001	2,627	7,712	115	2,497	7,692	18	42	0	15	734
	城陽市	38,583	1,235	4,819	132	1,100	4,813	3	6	0	0	185
	向日市	24,107	1,971	4,341	23	1,950	4,346	2	4	38	115	870
	長岡京市	32,313	1,378	4,171	21	1,350	4,156	3	7	17	47	506
	八幡市	30,408	1,007	2,790	148	849	2,767	10	22	0	16	129
	京田辺市	33,797	357	1,818	46	305	1,802	7	16	0	0	0
	木津川市	40,661	140	729	53	75	696	11	26	0	0	0
	大山崎町	6,083	151	568	8	145	578	2	6	1	5	39
	久御山町	10,664	730	1,590	70	660	1,586	0	0	0	11	68
	井手町	6,377	71	541	13	53	523	2	6	0	0	1
	宇治田原町	8,870	70	524	1	56	493	13	31	0	0	0
	笠置町	864	5	27	0	1	19	3	8	0	0	0
	和束町	2,111	6	55	0	3	49	3	6	0	0	0
	精華町	17,734	79	724	12	61	709	6	14	0	0	0
南山城村	2,053	2	17	0	0	13	2	5	0	0	0	
	集計	330,626	9,828	30,425	641	9,103	30,242	85	199	57	208	2,531
南丹広域振興局	亀岡市	61,102	622	4,033	46	548	3,969	28	64	0	0	0
	南丹市	43,681	179	1,464	6	85	1,264	89	208	0	0	0
	京丹波町	26,946	33	137	0	0	63	33	76	0	0	0
	集計	131,729	834	5,634	53	634	5,295	149	349	0	0	0
中丹広域振興局	福知山市	74,336	24	57	0	0	1	24	57	0	0	0
	舞鶴市	68,502	62	253	0	0	107	62	145	0	0	0
	綾部市	43,689	29	72	0	0	5	30	70	0	0	0
	集計	186,527	115	382	0	0	113	116	271	0	0	0
丹後広域振興局	宮津市	20,794	9	37	0	0	0	5	12	0	0	0
	京丹後市	55,993	1	3	0	0	0	1	2	0	0	0
	伊根町	1,712	1	4	0	0	0	0	1	0	0	0
	与謝野町	17,924	4	9	0	0	0	4	10	0	0	0
	集計	96,423	15	53	0	0	0	11	25	0	0	0
総計	1,372,358	110,839	147,634	1,610	108,767	146,613	462	1,021	7,585	10,096	23,849	

(2) 特徴

- ・建物被害として、全壊棟数 11 万棟、半壊棟数 15 万棟である。
- ・揺れによる被害は震源に近い京都市が最大となり、次に震源に近い山城広域振興局で多く発生する。
- ・液状化による被害も震源に近い京都市が最大で 900 棟、次に震源に近い山城広域振興局で多く 600 棟と、山城広域振興局でも多く被害が発生することが特徴的である。これは、液状化による被害は地震の揺れだけでなく、地盤特性にも深く関与するためである。特に河川(桂川、宇治川、木津川)の沿岸の後背低地や自然堤防、旧河道は、地下水が高く地盤の締まりもゆるい傾向にあるため、液状化危険度が高くなる。
- ・火災による被害は、火気が多く使用される冬 18 時で最も多く発生する。焼失棟数は京都市が最大となり、次いで山城広域振興局(主に向日市、宇治市、長岡京市)が多くなる。
- ・急傾斜地崩壊による被害は、急傾斜地が多い南丹広域振興局、中丹広域振興局で多く発生する。

(3) 前回調査との比較

- ・全壊棟数、半壊棟数ともに、府全域で前回調査より減少している。これは、建物の耐震化率の向上と近年の地震被害を考慮した最新の内閣府の手法によるものと考えられる。
- ・なお、京都市の前回調査では液状化による全壊、斜面崩壊による建物の全壊・半壊、焼失建物の冬 5 時および夏 12 時は実施されていない。

表 2.1-3 建物被害の前回調査との比較

	行政区分	建物棟数	建物被害 前回調査との比較										
			全壊計	半壊計	液状化 全壊	揺れ		急傾斜地崩壊		焼失			
						全壊	半壊	全壊	半壊	冬5時	夏12時	冬18時	冬18時 強風時
棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	
今回調査	京都市	627,000	100,000	111,000	900	99,000	111,000	100	200	7,500	9,900	21,000	
	山城広域振興局	331,000	9,800	30,000	600	9,100	30,000	90	200	60	200	2,500	
	南丹広域振興局	132,000	800	5,600	50	600	5,300	100	300	0	0	0	
	中丹広域振興局	187,000	100	400	0	0	100	100	300	0	0	0	
	丹後広域振興局	96,000	10	50	0	0	0	10	30	0	0	0	
	計	1,373,000	110,710	147,050	1,550	108,700	146,400	400	1,030	7,560	10,100	23,500	
前回調査	京都市	698,000	159,000	190,000	-	159,000	190,000	-	-	-	-	11,000	-
	山城広域振興局	346,000	26,000	54,000	200	25,000	54,000	600	1,300	50	200	2,000	3,100
	南丹広域振興局	104,000	3,700	11,000	0	3,100	11,000	500	1,200	0	0	100	200
	中丹広域振興局	159,000	300	1,600	0	30	1,600	200	600	0	0	0	0
	丹後広域振興局	121,000	70	300	0	0	300	70	200	0	0	0	0
	計	1,428,000	189,070	256,900	200	187,130	256,900	1,370	3,300	50	200	13,100	3,300

増加 減少 前回調査無し

※端数処理等の計算誤差により、総括表、前回公表数値及び京都市の結果と一致しないことがある。

前回調査の京都市の揺れによる全壊・半壊棟数は、京都市第 4 次地震被害想定で見直した数値を記載している。

①液状化

- ・建物の耐震化により、液状化による被害棟数は減少すること想定されるが、山城広域振興局と南丹広域振興局で増加している。この要因は、前回調査との計算後の処理の違いである。前回調査では、液状化による被害棟数(町丁目単位)が 1.0 未満の場合切捨てしていたが、今回調査では京都市の被害想定との整合を考慮し、また近年の液状化被害の状況を鑑みて実情に合った形に切捨て処理は行わないこととした。

②揺れ

- ・京都市では全壊棟数、半壊棟数ともに、前回調査に対して約 40%減少しており、京都市以外の各

地域でも同様に大きく減少している。

- ・要因としては、既存建物の耐震化や建て替えによる耐震化率の向上によるものと近年の地震被害を考慮した最新の内閣府の手法によるものである。

表 2.1-4 住宅の耐震化率の推計

年	H15	H20	H25	H30	R2
京都府	74%	78%	81%	87%	88%
国	75%	79%	82%	87%	—

出典：京都府耐震促進計画（平成 28 年～令和 7 年度）令和 3 年 3 月

※建物被害の被害想定手法の違い

図 2.1-1 に前回調査と近年の地震被害を考慮した今回調査の木造建物の全壊率曲線と全半壊率曲線の比較を示す。前回調査を実線、今回調査を点線で示している。なお、前回調査は横軸が地表最大速度、今回調査は横軸が計測震度のため、今回調査のグラフは、震度想定の変換式を使用して地表最大速度に変換している。

全壊率は、地表最大速度が 100cm/s～130cm/s より小さい範囲で今回調査の方が低い。大部分の地域で地表最大速度が 100cm/s～130cm/s より小さいため、被害数量も少なくなる。

さらに、前回調査では昭和 57 年以降をひとまとめにしているのに対して、今回調査では昭和 56 年以降を 3 つに分けており、全壊率も低くなっているため、被害数量も少なくなる。全半壊率曲線においても同様の傾向を確認できる。

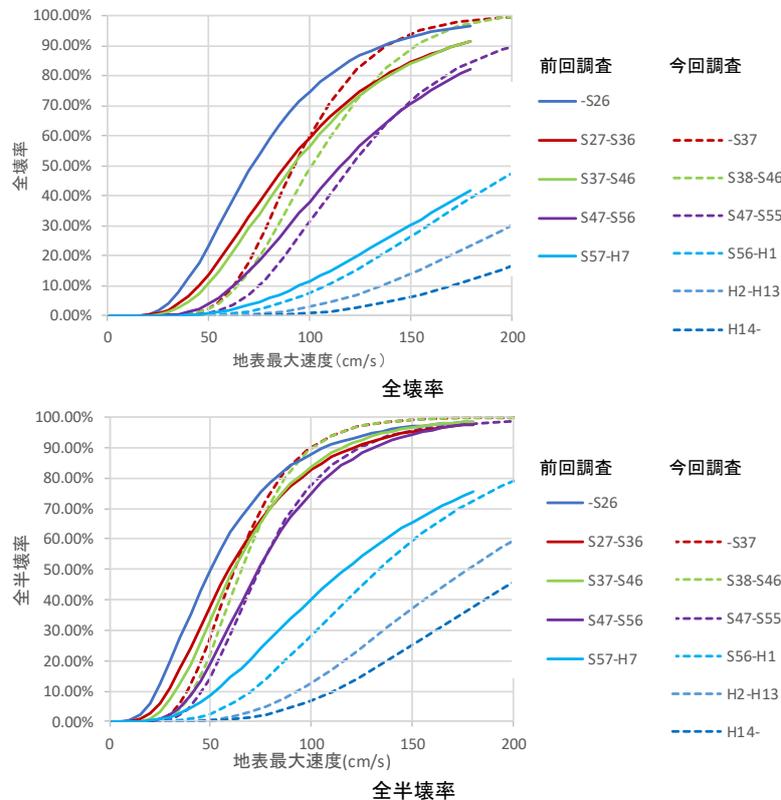


図 2.1-1 前回調査と今回調査の木造建物の全壊率、全半壊率曲線の比較（前回：実線、今回：点線）

③急傾斜地崩壊

- ・京都市は、前回調査で全壊、半壊棟数の算出は行っていない。

- ・京都市以外の地域では、全壊棟数、半壊棟数ともに大きく減少している。これは、近年発生した直下地震の事例（新潟県中越地震、新潟県中越沖地震、岩手・宮城内陸地震）を踏まえて実態に合うように内閣府（2013）が崩壊危険度ランク別の崩壊確率を見直したことが要因である。

表 2.1-5 前回調査と今回調査の急傾斜地崩壊の崩壊確率の違い

崩壊危険度 ランク	崩壊確率	
	今回調査	前回調査
A	10%	95%
B	0%	10%
C	0%	0%

※今回調査の危険度ランクは危険側を想定し全てランク A

④焼失建物

- ・京都市の冬 18 時の焼失建物は、前回調査と比較して、2 倍近くに増加している。この要因は、京都市域の前回調査では考慮していなかった「電気機器・配線からの出火」を考慮したことにより、出火数が増加したことが挙げられる。
- ・山城広域振興局では、冬 5 時と冬 18 時で焼失建物が若干増加している。これは、計算条件の風速を近年の観測記録より 4m（京都市域以外の前回調査：2m）と設定したためである。
- ・南丹広域振興局では、前回調査の冬 18 時で焼失建物が発生していたが、今回調査では初期消火により、炎上出火が食い止められ、焼失建物は発生していない。
- ・中丹広域振興局、丹後広域振興局では、前回調査、今回調査ともに焼失建物は発生しない。

2.2 屋外転倒・落下物の被害

(1) 想定結果

- ・ブロック塀等（ブロック塀、石塀、コンクリート塀）の転倒、自動販売機の転倒、屋外落下物の発生の被害数を算定した。
- ・京都市は、京都市第 4 次地震被害想定調査（令和 5 年）で屋外転倒・落下物による死傷者数は算定しているが、被害数は算定していない。
- ・結果は以下のとおりである。

表 2.2-1 建物被害（広域振興局）

行政区分	ブロック塀等の転倒				自動販売機 転倒数	屋外落下物が 生じる建物数
	ブロック塀 被害数	石塀 被害数	コンクリート塀 被害数	計		
	箇所	箇所	箇所	箇所	台	棟
京都市	-	-	-	-	-	-
山城広域振興局	12,000	6,900	2,500	21,400	200	8,000
南丹広域振興局	2,400	1,500	500	4,400	30	300
中丹広域振興局	400	400	90	890	0	0
丹後広域振興局	20	20	*	40	0	0
計	14,820	8,820	3,090	26,730	300	8,300

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値及び京都市の結果と一致しないことがある。

表 2.2-2 建物被害（市区町村）

行政区分		ブロック塀等の転倒				自動販売機 転倒数	屋外落下物が 生じる建物数
		ブロック塀 被害数	石塀 被害数	コンクリート塀 被害数	計		
		人	人	人	箇所		
京都市		-	-	-	-	-	-
	集計	-	-	-	-	-	-
山城広域 振興局	宇治市	3,233	1,911	691	5,834	70	2,109
	城陽市	1,699	1,007	363	3,069	29	693
	向日市	1,499	879	320	2,698	22	1,482
	長岡京市	1,550	913	331	2,794	31	1,944
	八幡市	936	555	200	1,691	19	700
	京田辺市	890	534	190	1,615	28	216
	木津川市	309	189	66	564	13	53
	大山崎町	212	125	45	382	6	120
	久御山町	419	246	90	755	6	547
	井手町	167	101	36	304	3	35
	宇治田原町	201	122	43	367	3	27
	笠置町	10	6	2	18	0	0
	和束町	23	15	5	44	0	1
	精華町	392	237	84	713	6	26
南山城村	16	11	3	29	0	0	
	集計	11,556	6,852	2,468	20,877	235	7,954
南丹広域 振興局	亀岡市	1,565	945	334	2,844	27	312
	南丹市	629	398	134	1,162	3	36
	京丹波町	163	112	35	310	0	0
	集計	2,358	1,455	504	4,316	30	348
中丹広域 振興局	福知山市	84	79	18	182	0	0
	舞鶴市	263	192	56	511	0	0
	綾部市	90	81	19	190	0	0
	集計	437	352	93	883	0	0
丹後広域 振興局	宮津市	17	20	4	41	0	0
	京丹後市	0	0	0	0	0	0
	伊根町	0	0	0	0	0	0
	与謝野町	1	5	0	5	0	0
	集計	18	25	4	46	0	0
	総計	14,369	8,684	3,069	26,122	264	8,302

(2) 特徴

- ・ブロック塀等の転倒、自動販売機の転倒、屋外落下物が生じる建物数ともに京都市を除く振興局内では、山城広域振興局で多く発生し、次に南丹広域振興局で多く発生する。
- ・中丹広域振興局、丹後広域振興局では、自動販売機の転倒、屋外落下物が生じる建物数の発生は想定されなかった。

2.3 人的被害

(1) 想定結果

- ・ 人的被害としては、揺れ、急傾斜地崩壊、地震火災、ブロック塀等で発生する死者及び負傷者、重傷者を算定した。また、参考データとして、京都府観光入込客等調査報告書（令和元年）をもとに、観光入込客の死者及び負傷者、重傷者を算定した。
- ・ 結果は以下のとおりである。

表 2.3-1 人的被害（冬5時）（広域振興局）

行政区分	冬5時																			要救助者
	死者						負傷者						重傷者							
	揺れ	屋内 収容物	急傾斜 地崩壊	火災	ブロック 塀等	計	揺れ	屋内 収容物	急傾斜 地崩壊	火災	ブロック 塀等	計	揺れ	屋内 収容物	急傾斜 地崩壊	火災	ブロック 塀等	計		
																			人	
京都市	3,500	200	10	600	*	4,000	26,000	3,500	20	400	*	26,000	6,100	700	*	100	*	6,200	25,000	
山城広域振興局	500	60	*	*	0	500	6,700	1,200	*	*	0	6,700	900	200	*	*	0	900	2,300	
南丹広域振興局	40	*	10	0	0	50	1,000	100	20	0	0	1,100	60	20	*	0	0	70	100	
中丹広域振興局	0	0	10	0	0	10	20	20	10	0	0	30	0	0	*	0	0	*	0	
丹後広域振興局	0	0	*	0	0	*	0	0	*	0	0	*	0	0	*	0	0	*	0	
計	4,040	260	30	600	*	4,560	33,720	4,820	50	400	*	33,830	7,060	920	*	100	*	7,170	27,400	

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値及び京都市の結果と一致しないことがある。

表 2.3-2 人的被害（夏12時）（広域振興局）

行政区分	夏12時																			要救助者
	死者						負傷者						重傷者							
	揺れ	屋内 収容物	急傾斜 地崩壊	火災	ブロック 塀等	計	揺れ	屋内 収容物	急傾斜 地崩壊	火災	ブロック 塀等	計	揺れ	屋内 収容物	急傾斜 地崩壊	火災	ブロック 塀等	計		
																			人	
京都市	1,800	100	*	800	*	2,600	52,000	2,400	*	500	30	53,000	8,700	500	*	200	*	8,900	24,000	
山城広域振興局	200	30	*	*	0	200	3,300	800	*	10	0	3,400	400	200	*	*	0	400	1,700	
南丹広域振興局	20	*	*	0	0	20	400	70	*	*	0	400	30	10	*	0	0	30	80	
中丹広域振興局	0	0	*	0	0	*	10	10	*	0	0	20	0	0	*	0	0	*	0	
丹後広域振興局	0	0	*	0	0	*	0	0	*	0	0	*	0	0	0	0	0	0	0	
計	2,020	130	*	800	*	2,820	55,710	3,280	0	510	30	56,820	9,130	710	*	200	*	9,330	25,780	

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値及び京都市の結果と一致しないことがある。

表 2.3-3 人的被害（冬18時）（広域振興局）

行政区分	冬18時																			要救助者
	死者						負傷者						重傷者							
	揺れ	屋内 収容物	急傾斜 地崩壊	火災	ブロック 塀等	計	揺れ	屋内 収容物	急傾斜 地崩壊	火災	ブロック 塀等	計	揺れ	屋内 収容物	急傾斜 地崩壊	火災	ブロック 塀等	計		
																			人	
京都市	2,400	100	*	1,700	*	4,100	29,000	2,400	10	1,100	40	30,000	5,400	500	*	400	*	5,800	24,000	
山城広域振興局	400	40	*	30	0	400	4,100	900	*	100	0	4,300	500	200	*	30	0	600	1,900	
南丹広域振興局	20	*	10	0	0	30	600	70	10	*	0	600	40	10	*	0	0	40	90	
中丹広域振興局	0	0	*	0	0	*	10	10	*	0	0	20	0	0	*	0	0	*	0	
丹後広域振興局	0	0	*	0	0	*	0	0	*	0	0	*	0	0	0	0	0	0	0	
計	2,820	140	*	1,730	*	4,530	33,710	3,380	20	1,200	40	34,920	5,940	710	*	430	*	6,440	25,990	

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値及び京都市の結果と一致しないことがある。

表 2.3-4 人的被害（各ケースの最大値）（広域振興局）

行政区分	最大値																			要救助者
	死者						負傷者						重傷者							
	揺れ	屋内 収容物	急傾斜 地崩壊	火災	ブロック 塀等	計	揺れ	屋内 収容物	急傾斜 地崩壊	火災	ブロック 塀等	計	揺れ	屋内 収容物	急傾斜 地崩壊	火災	ブロック 塀等	計		
																			人	
京都市	2,400	100	*	1,700	*	4,100	52,000	2,400	*	500	30	53,000	8,700	500	*	200	*	8,900	25,000	
山城広域振興局	500	60	*	*	0	500	6,700	1,200	*	*	0	6,700	900	200	*	*	0	900	2,300	
南丹広域振興局	40	*	10	0	0	50	1,000	100	20	0	0	1,100	60	20	*	0	0	70	100	
中丹広域振興局	0	0	10	0	0	10	20	20	10	0	0	30	0	0	*	0	0	*	0	
丹後広域振興局	0	0	*	0	0	*	0	0	*	0	0	*	0	0	0	0	0	0	0	
計	2,940	160	*	1,700	*	4,660	59,720	3,720	30	500	30	60,830	9,660	720	*	200	*	9,870	27,400	

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値及び京都市の結果と一致しないことがある。

表 2.3-5 人の被害（冬5時）（市区町村）

行政区分		冬5時																		要救助者 人
		死者						負傷者												
								重傷者												
		揺れ	屋内 収容物	急傾斜 地崩壊	火災	ブロッ ク塀等	計	揺れ	屋内 収容物	急傾斜 地崩壊	火災	ブロッ ク塀等	計	揺れ	屋内 収容物	急傾斜 地崩壊	火災	ブロッ ク塀等	計	
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
京都市	北区	347	19	5	60	0	412	2,249	304	6	38	0	2,294	556	64	3	15	0	575	2,325
	上京区	395	21	0	44	0	439	2,520	333	0	27	1	2,547	684	72	0	11	0	695	2,949
	左京区	605	34	3	53	0	661	3,637	543	3	32	0	3,673	1,038	116	2	13	0	1,052	4,428
	中京区	351	20	0	52	0	403	2,558	333	0	32	1	2,591	668	71	0	13	0	681	3,059
	東山区	340	13	2	15	0	357	1,692	200	2	9	0	1,703	557	43	1	3	0	562	1,718
	山科区	208	15	1	46	0	255	2,016	258	2	30	0	2,047	350	54	1	12	0	363	1,431
	下京区	258	14	0	30	0	288	1,923	237	0	18	1	1,942	491	51	0	7	0	498	2,293
	南区	248	14	0	34	0	282	2,017	241	0	21	0	2,039	425	51	0	8	0	434	1,656
	右京区	63	7	1	97	0	161	1,101	147	1	66	0	1,168	115	29	1	26	0	141	534
	西京区	85	9	1	44	0	130	1,084	169	1	30	0	1,115	147	34	0	12	0	159	670
伏見区	550	40	1	95	0	646	4,898	694	1	60	0	4,959	1,045	147	1	24	0	1,069	4,069	
	集計	3,451	204	14	570	0	4,034	25,697	3,459	17	362	3	26,078	6,076	733	9	143	0	6,228	25,132
山城広域 振興局	宇治市	146	18	1	0	0	147	1,723	347	2	1	0	1,726	239	71	1	0	0	240	688
	城陽市	68	8	0	0	0	68	1,005	142	0	1	0	1,005	106	29	0	0	0	106	251
	向日市	117	11	0	1	0	119	1,065	182	0	3	0	1,068	187	38	0	1	0	188	506
	長岡京市	77	10	0	0	0	78	937	194	0	2	0	939	131	40	0	0	0	132	432
	八幡市	47	5	1	0	0	48	606	103	1	0	0	608	80	21	1	0	0	81	153
	京田辺市	18	2	1	0	0	19	388	63	1	0	0	389	32	12	0	0	0	32	63
	木津川市	2	1	1	0	0	3	134	49	1	0	0	135	7	7	1	0	0	8	11
	大山崎町	7	1	0	0	0	7	121	29	0	0	0	121	14	6	0	0	0	14	42
	久御山町	36	3	0	0	0	36	372	46	0	0	0	372	61	10	0	0	0	61	121
	井手町	3	0	0	0	0	3	109	6	0	0	0	109	6	1	0	0	0	6	7
	宇治田原町	3	0	1	0	0	5	104	8	1	0	0	106	6	1	1	0	0	7	7
	笠置町	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0
	和東町	0	0	0	0	0	0	10	3	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	1
	精華町	4	1	1	0	0	4	125	24	1	0	0	126	6	5	0	0	0	6	10
南山城村	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	
	集計	529	60	7	2	0	538	6,705	1,200	9	8	0	6,722	875	242	5	2	0	881	2,293
南丹広域 振興局	亀岡市	32	3	2	0	0	34	775	74	3	0	0	778	53	14	1	0	0	54	103
	南丹市	5	1	8	0	0	13	250	19	10	0	0	260	9	4	5	0	0	14	7
	京丹波町	0	0	3	0	0	3	12	4	4	0	0	15	0	0	2	0	0	2	0
		集計	37	4	13	0	0	50	1,037	97	16	0	0	1,053	61	18	8	0	0	70
中丹広域 振興局	福知山市	0	0	2	0	0	2	0	0	3	0	0	3	0	0	1	0	0	1	0
	舞鶴市	0	0	5	0	0	5	16	16	6	0	0	23	0	0	3	0	0	3	0
	綾部市	0	0	2	0	0	2	1	1	3	0	0	4	0	0	2	0	0	2	0
		集計	0	0	10	0	0	10	17	17	12	0	0	29	0	0	6	0	0	6
丹後広域 振興局	宮津市	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	京丹後市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	伊根町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	与謝野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		集計	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1
	総計	4,017	269	45	572	0	4,633	33,455	4,773	56	370	3	33,884	7,012	992	28	145	0	7,186	27,535

表 2.3-6 人的被害（夏12時）（市区町村）

行政区分		夏12時																			要救助者
		死者						負傷者												計	
		揺れ		急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀等	計	揺れ		急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀等	計	重傷者							
		人	屋内収容物					人	屋内収容物					人	屋内収容物	人	屋内収容物	人	屋内収容物		
京都市	北区	179	6	2	76	0	257	4,328	147	3	48	0	4,379	724	30	1	19	0	745	1,702	
	上京区	200	10	0	60	0	259	6,874	221	0	33	6	6,913	1,179	47	0	14	0	1,193	3,075	
	左京区	319	18	1	81	0	402	8,171	374	1	48	0	8,220	1,511	79	1	19	0	1,531	3,936	
	中京区	163	13	0	91	0	254	4,942	293	0	54	6	5,003	806	63	0	22	0	829	3,318	
	東山区	170	8	1	36	0	207	3,593	163	1	20	5	3,618	710	35	0	8	0	719	2,057	
	山科区	123	5	1	54	0	177	3,335	127	1	34	0	3,370	501	26	0	14	0	515	950	
	下京区	116	11	0	72	0	188	3,835	259	0	43	6	3,884	612	55	0	17	0	629	2,943	
	南区	119	7	0	63	0	181	3,201	188	0	39	1	3,242	496	39	0	16	0	511	1,578	
	右京区	39	3	0	105	0	144	2,030	94	1	71	0	2,102	215	19	0	28	0	243	399	
	西京区	52	3	0	41	0	94	1,855	90	0	28	0	1,883	237	18	0	11	0	248	438	
伏見区	318	18	0	124	0	443	9,864	412	1	76	1	9,941	1,665	87	0	31	0	1,696	3,158		
	集計	1,797	103	6	803	0	2,606	52,028	2,368	7	495	25	52,555	8,654	498	4	199	1	8,858	23,554	
山城広域振興局	宇治市	59	9	1	0	0	61	845	227	1	2	0	848	112	46	1	1	0	113	461	
	城陽市	27	4	0	0	0	27	397	92	0	1	0	397	43	19	0	0	0	43	177	
	向日市	48	5	0	1	0	49	488	104	0	4	0	492	79	22	0	1	0	80	316	
	長岡京市	32	5	0	0	0	32	476	129	0	3	0	479	64	26	0	1	0	65	281	
	八幡市	20	2	0	0	0	20	342	79	0	1	0	344	43	16	0	0	0	44	128	
	京田辺市	7	1	0	0	0	8	176	52	0	0	0	176	15	10	0	0	0	16	54	
	木津川市	1	0	0	0	0	1	152	32	0	0	0	152	10	6	0	0	0	10	10	
	大山崎町	3	1	0	0	0	3	82	20	0	0	0	83	10	4	0	0	0	10	32	
	久御山町	15	3	0	0	0	15	239	63	0	1	0	240	37	13	0	0	0	37	179	
	井手町	1	0	0	0	0	2	45	5	0	0	0	45	3	1	0	0	0	3	5	
	宇治田原町	1	0	1	0	0	2	41	6	1	0	0	43	3	1	0	0	0	3	5	
	笠置町	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	
	和束町	0	0	0	0	0	0	4	2	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	
	精華町	1	0	0	0	0	2	59	16	0	0	0	60	3	3	0	0	0	3	7	
南山城村	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0		
	集計	216	32	4	3	0	223	3,348	828	5	14	0	3,366	421	168	2	4	0	428	1,656	
南丹広域振興局	亀岡市	13	2	1	0	0	14	324	51	2	1	0	326	25	10	1	0	0	26	69	
	南丹市	2	0	4	0	0	6	99	15	5	0	0	104	4	3	3	0	0	7	7	
	京丹波町	0	0	1	0	0	1	6	3	2	0	0	8	0	0	1	0	0	1	0	
	集計	15	2	7	0	0	22	428	69	9	1	0	438	30	13	4	0	0	34	75	
中丹広域振興局	福知山市	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	
	舞鶴市	0	0	3	0	0	3	13	13	4	0	0	17	0	0	2	0	0	2	0	
	綾部市	0	0	2	0	0	2	1	1	2	0	0	2	0	0	1	0	0	1	0	
	集計	0	0	6	0	0	6	13	13	7	0	0	21	0	0	3	0	0	4	0	
丹後広域振興局	宮津市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	京丹後市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	伊根町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	与謝野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		集計	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	総計	2,029	136	23	806	0	2,857	55,818	3,278	28	509	25	56,381	9,105	679	14	203	1	9,324	25,285	

表 2.3-7 人的被害（冬 18 時）（市区町村）

行政区分	冬18時																				要救助者
	死者						負傷者						重傷者								
	揺れ	屋内 収容物	急傾斜 地崩壊	火災	ブロッ ク崩等	計	揺れ	屋内 収容物	急傾斜 地崩壊	火災	ブロッ ク崩等	計	揺れ	屋内 収容物	急傾斜 地崩壊	火災	ブロッ ク崩等	計			
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人		
京都市	北区	241	9	3	162	0	406	2,222	170	4	103	0	2,331	443	36	2	41	0	486	1,935	
	上京区	265	13	0	126	0	391	3,316	223	0	74	10	3,400	656	48	0	30	1	686	2,966	
	左京区	431	21	2	169	0	602	4,181	380	2	102	0	4,286	920	81	1	41	0	962	4,103	
	中京区	220	14	0	174	0	393	2,925	261	0	106	11	3,041	549	56	0	42	1	592	3,181	
	東山区	225	10	1	64	0	289	1,959	163	1	36	8	2,004	461	35	1	14	0	477	1,886	
	山科区	158	7	1	128	0	287	2,014	148	1	84	1	2,100	324	31	1	33	0	357	1,139	
	下京区	153	11	0	128	0	282	2,309	214	0	77	10	2,396	414	46	0	30	1	445	2,645	
	南区	155	8	0	120	0	275	1,999	174	0	76	2	2,077	342	37	0	30	0	372	1,596	
	右京区	47	4	1	236	0	284	1,134	96	1	160	0	1,295	119	19	0	63	0	182	447	
	西京区	65	4	0	100	0	166	1,104	100	1	68	0	1,172	144	20	0	27	0	171	529	
伏見区	409	22	1	283	0	692	5,567	433	1	177	1	5,745	1,031	92	0	70	0	1,102	3,494		
	集計	2,369	124	9	1,688	0	4,066	28,729	2,361	11	1,061	44	29,846	5,404	499	6	420	2	5,832	23,920	
山城広域 振興局	宇治市	97	11	1	9	0	107	1,055	242	1	33	0	1,089	145	49	1	9	0	154	553	
	城陽市	45	5	0	2	0	47	586	99	0	8	0	594	62	20	0	2	0	65	207	
	向日市	78	7	0	15	0	93	649	120	0	34	0	683	112	25	0	10	0	121	390	
	長岡京市	51	7	0	5	0	57	572	136	0	25	0	597	79	28	0	7	0	86	343	
	八幡市	32	3	1	1	0	33	383	78	1	6	0	390	50	16	0	2	0	52	141	
	京田辺市	12	2	0	0	0	13	227	49	1	1	0	229	19	10	0	0	0	19	59	
	木津川市	1	1	1	0	0	2	117	34	1	1	0	118	7	6	0	0	0	8	10	
	大山崎町	5	1	0	0	0	5	82	20	0	2	0	84	9	4	0	1	0	10	35	
	久御山町	24	2	0	1	0	25	258	48	0	3	0	261	42	10	0	1	0	43	146	
	井手町	2	0	0	0	0	2	62	5	0	0	0	63	3	1	0	0	0	4	6	
	宇治田原町	2	0	1	0	0	3	59	6	1	0	0	61	4	1	1	0	0	4	6	
	笠置町	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	
	和束町	0	0	0	0	0	0	6	2	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	1	
	精華町	2	1	0	0	0	3	79	17	0	0	0	80	4	3	0	0	0	4	8	
	南山城村	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	
		集計	352	39	5	34	0	391	4,138	858	7	113	0	4,258	535	174	3	32	0	570	1,905
南丹広域 振興局	魚沼市	21	2	2	0	0	23	449	52	2	1	0	453	32	10	1	0	0	33	83	
	南丹市	4	1	6	0	0	9	145	15	7	0	0	152	5	3	4	0	0	9	7	
	京丹波町	0	0	2	0	0	2	7	3	3	0	0	10	0	0	1	0	0	1	0	
	集計	25	3	10	0	0	35	601	70	12	2	0	615	37	13	6	0	0	43	89	
中丹広域 振興局	福知山市	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	0	0	1	0	
	舞鶴市	0	0	4	0	0	4	12	12	5	0	0	17	0	0	2	0	0	3	0	
	綾部市	0	0	2	0	0	2	1	1	2	0	0	3	0	0	1	0	0	1	0	
	集計	0	0	7	0	0	7	12	12	9	0	0	22	0	0	5	0	0	5	0	
丹後広域 振興局	宮津市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	京丹後市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	伊根町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	与謝野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	集計	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
	総計	2,745	165	32	1,722	0	4,500	33,480	3,300	40	1,176	44	34,741	5,976	686	20	453	2	6,451	25,914	

表 2.3-8 人的被害（観光入込客）（広域振興局）

行政区分	冬5時				夏12時				冬18時			
	宿泊 客数	死者	負傷者	重傷者	旅行 客数	死者	負傷者	重傷者	旅行 客数	死者	負傷者	重傷者
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
京都市	37,000	100	700	200	146,000	200	4,800	800	149,000	400	2,900	600
山城広域振興局	600	0	*	*	48,000	20	200	30	50,000	30	300	40
南丹広域振興局	500	0	*	0	34,000	*	100	*	19,000	*	80	*
中丹広域振興局	900	0	0	0	17,000	*	*	0	9,200	0	*	0
丹後広域振興局	2,200	0	0	0	42,000	0	*	0	13,000	0	0	0
計	41,000	100	700	200	287,000	300	5,100	800	240,000	400	3,300	600

表 2.3-9 人的被害（観光入込客）（市区町村）

行政区分		冬5時				夏12時				冬18時			
		宿泊 客数	死者	負傷者		旅行 客数	死者	負傷者		旅行 客数	死者	負傷者	
				重傷者	重傷者			重傷者	重傷者				
		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
京都市	京都市	36,618	101	652	156	146,032	237	4,772	804	148,839	394	2,892	565
	集計	36,618	101	652	156	146,032	237	4,772	804	148,839	394	2,892	565
山城広域 振興局	宇治市	156	0	2	0	26,836	10	144	19	10,458	7	68	10
	城陽市	84	0	1	0	1,945	1	12	1	5,543	4	47	5
	向日市	0	0	0	0	523	1	6	1	2,071	4	28	5
	長岡京市	58	0	1	0	2,479	1	16	2	6,084	4	47	7
	八幡市	49	0	0	0	3,302	1	18	2	13,345	7	77	10
	京田辺市	79	0	0	0	2,183	0	5	0	2,644	0	8	1
	木津川市	12	0	0	0	2,471	0	6	0	2,030	0	3	0
	大山崎町	12	0	0	0	1,122	0	7	1	2,926	1	17	2
	久御山町	0	0	0	0	266	0	2	0	128	0	2	0
	井手町	5	0	0	0	767	0	5	0	537	0	5	0
	宇治田原町	7	0	0	0	520	0	2	0	444	0	3	0
	笠置町	10	0	0	0	896	0	1	0	676	0	2	0
	和束町	12	0	0	0	588	0	1	0	304	0	1	0
	精華町	35	0	0	0	1,239	0	2	0	1,149	0	3	0
南山城村	67	0	0	0	3,131	0	2	0	2,035	0	1	0	
	集計	587	0	5	1	48,267	15	230	29	50,372	28	311	41
南丹広域 振興局	亀岡市	245	0	2	0	14,388	3	62	5	8,785	3	49	4
	南丹市	231	0	2	0	8,593	2	27	2	4,695	1	22	1
	京丹波町	66	0	0	0	11,056	1	7	1	5,855	1	5	1
	集計	542	0	4	0	34,037	6	96	8	19,335	5	76	6
中丹広域 振興局	福知山市	642	0	0	0	3,351	0	0	0	3,895	0	0	0
	舞鶴市	179	0	0	0	11,632	0	2	0	3,731	0	1	0
	綾部市	128	0	0	0	1,927	0	0	0	1,526	0	0	0
	集計	949	0	0	0	16,910	1	3	0	9,151	0	1	0
丹後広域 振興局	宮津市	1,076	0	0	0	27,300	0	1	0	5,309	0	0	0
	京丹後市	900	0	0	0	12,450	0	0	0	5,164	0	0	0
	伊根町	74	0	0	0	1,328	0	0	0	761	0	0	0
	与謝野町	105	0	0	0	1,157	0	0	0	1,302	0	0	0
	集計	2,154	0	0	0	42,235	0	1	0	12,537	0	0	0
総計		40,850	102	661	157	287,482	259	5,102	842	240,234	427	3,280	612

(2) 特徴

- ・人的被害として、死者数は冬5時が最も多く4.6千人、負傷者及び重傷者は夏12時が最も多く5.7万人と9.3千人である。死者数が冬5時で最も多くなる要因は、自宅での就寝者が多い時間帯で家屋倒壊による圧死が多いためである。負傷者及び重傷者が夏12時に多くなる要因は、外出先での被災が多い時間帯であるためである。
- ・要救助者（自力脱出困難者）数は冬5時が最も多く2.7万人である。この要因として、死者数同様自宅での就寝者が多い時間帯のためである。
- ・京都市では、死者は冬18時が最も多く4.1千人であり、この6割は家屋倒壊による死者で、4割は火災による死者である。負傷者及び重傷者は夏12時が多い。
- ・山城広域振興局では、死者は冬5時が最も多く500人であり、この9割以上が揺れによる家屋倒壊が原因であり、火災による死者は若干名である。負傷者及び重傷者も死者と同様の傾向である。
- ・南丹広域振興局では、死者は冬5時が最も多く50人程度であり、この8割は揺れによる家屋倒壊が原因であり、残り2割は急傾斜地崩壊が原因である。負傷者及び重傷者も死者と同様の傾向である。
- ・中丹広域振興局では、死者は急傾斜地崩壊により10人程度発生する。負傷者は冬5時が最も多

く 30 人程度であり、その 7 割は揺れによる家屋倒壊が原因であり、残り 3 割は急傾斜地崩壊が原因である。

- ・丹後広域振興局では、死者及び負傷者、重傷者は急傾斜地崩壊により若干名発生する。

(3) 前回調査との比較

- ・死者数、負傷者数、重傷者数、避難者数ともに、府全域で前回調査より減少している。これは、建物の耐震化の進展と近年の地震被害を考慮した最新の内閣府の手法により建物被害が減少したためである。

表 2.3-10 人的被害の前回調査との比較

	行政区分	冬5時								
		死者					負傷者	重傷者	要救助者	避難者
		揺れ	急傾斜地	火災	ブロック塀等	計				
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
今回調査	京都市	3,500	10	600	*	4,000	26,000	6,200	25,000	174,000
	山城広域振興局	500	*	*	0	500	6,700	900	2,300	27,000
	南丹広域振興局	40	10	0	0	50	1,100	70	100	1,800
	中丹広域振興局	0	10	0	0	10	30	*	0	20
	丹後広域振興局	0	*	0	0	*	*	*	0	0
計	4,040	30	600	0	4,560	33,830	7,170	27,400	202,820	
前回調査	京都市	4,000	-	500	0	4,500	141,000	35,000	-	296,000
	山城広域振興局	1,400	-	*	-	1,500	13,000	1,500	7,400	162,000
	南丹広域振興局	90	-	0	-	90	1,500	100	600	21,000
	中丹広域振興局	0	-	0	-	0	10	0	*	2,700
	丹後広域振興局	0	-	0	-	0	0	0	0	300
計	5,490	-	500	0	6,090	155,510	36,600	8,000	482,000	
増加 減少 前回調査無し										
	行政区分	夏12時								
		死者					負傷者	重傷者	要救助者	避難者
		揺れ	急傾斜地	火災	ブロック塀等	計				
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
今回調査	京都市	1,800	*	800	*	2,600	53,000	8,900	24,000	179,000
	山城広域振興局	200	*	*	0	200	3,400	400	1,700	27,000
	南丹広域振興局	20	*	0	0	20	400	30	80	1,800
	中丹広域振興局	0	*	0	0	*	20	*	0	20
	丹後広域振興局	0	*	0	0	*	*	*	0	0
計	2,020	*	800	0	2,820	56,820	9,330	25,780	207,820	
前回調査	京都市	2,500	-	500	0	3,200	112,000	28,000	-	296,000
	山城広域振興局	300	-	10	-	400	5,100	500	4,500	162,000
	南丹広域振興局	*	-	0	-	10	600	20	400	21,000
	中丹広域振興局	0	-	0	-	0	*	0	0	2,700
	丹後広域振興局	0	-	0	-	0	0	0	0	300
計	2,800	-	510	0	3,610	117,700	28,520	4,900	482,000	
増加 減少 前回調査無し										
	行政区分	冬18時								
		死者					負傷者	重傷者	要救助者	避難者
		揺れ	急傾斜地	火災	ブロック塀等	計				
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
今回調査	京都市	2,400	*	1,700	*	4,100	30,000	5,800	24,000	206,000
	山城広域振興局	400	*	30	0	400	4,300	600	1,900	32,000
	南丹広域振興局	20	10	0	0	30	600	40	90	1,800
	中丹広域振興局	0	*	0	0	*	20	*	0	20
	丹後広域振興局	0	*	0	0	*	*	0	0	0
計	2,820	10	1,730	0	4,530	34,920	6,440	25,990	239,820	
前回調査	京都市	4,200	-	900	300	5,400	163,000	41,000	-	296,000
	山城広域振興局	800	-	300	-	1,100	8,500	1,000	5,600	162,000
	南丹広域振興局	40	-	10	-	60	1,000	60	500	21,000
	中丹広域振興局	0	-	0	-	0	*	0	*	2,700
	丹後広域振興局	0	-	0	-	0	0	0	0	300
計	5,040	-	1,210	300	6,560	172,500	42,060	6,100	482,000	
増加 減少 前回調査無し										
	行政区分	最大値								
		死者					負傷者	重傷者	要救助者	避難者
		揺れ	急傾斜地	火災	ブロック塀等	計				
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
今回調査	京都市	3,500	10	1,700	*	4,100	53,000	8,900	25,000	206,000
	山城広域振興局	500	*	30	0	500	6,700	900	2,300	32,000
	南丹広域振興局	40	10	0	0	50	1,100	70	100	1,800
	中丹広域振興局	0	10	0	0	10	30	*	0	20
	丹後広域振興局	0	*	0	0	*	*	*	0	0
計	4,040	10	1,730	0	4,660	60,830	9,870	27,400	239,820	
前回調査	京都市	4,200	-	900	300	5,400	163,000	41,000	-	296,000
	山城広域振興局	1,400	-	300	-	1,500	13,000	1,500	7,400	162,000
	南丹広域振興局	90	-	10	-	90	1,500	100	600	21,000
	中丹広域振興局	0	-	0	-	0	10	0	*	2,700
	丹後広域振興局	0	-	0	-	0	0	0	0	300
計	5,690	-	1,210	300	6,990	177,510	42,600	8,000	482,000	
増加 減少 前回調査無し										

※端数処理等の計算誤差により、総括表、前回公表数値及び京都市の結果と一致しないことがある。

今回調査の避難者は発災直後の避難者数、前回調査の避難者数は短期の避難者数を示す。

①死者

- ・京都市では、死者数が全ケースで1割から2割程度減少しているが、火災による死者は増加しており、冬18時で前回調査の約2倍となっている。この要因は、火災による焼失建物が冬18時で2倍程度まで増加したことである。
- ・山城広域振興局では、死者数が全ケースで3割から5割程度減少している。この要因は、建物の耐震化の進展と近年の地震被害を考慮した最新の内閣府の手法により建物被害が減少したためである。
- ・南丹振興局では、夏12時の死者数が若干増加しているが、これは工場等の建設で前回調査と比較して夜間人口より昼間人口の方が多地域が増えたためと考えられる。
- ・中丹広域振興局及び丹後広域振興局では、死者数が微増している。この要因は、今回調査から近年の地震被害を考慮した最新の内閣府の手法に倣って、急傾斜地崩壊による死者数を見込んだためである。

②負傷者、重傷者

- ・京都市では、負傷者数及び重傷者数とも全ケースで2割から5割程度減少している。この要因は、建物の耐震化の進展と近年の地震被害を考慮した最新の内閣府の手法により建物被害が減少したためである。
- ・山城広域振興局では、負傷者数及び重傷者数とも全ケースで2割から5割程度減少している。この要因は、京都市同様、建物の耐震化の進展と近年の地震被害を考慮した最新の内閣府の手法により建物被害が減少したためである。
- ・南丹広域振興局では、負傷者は2割から4割程度減少している。これは、京都市同様、建物の耐震化の進展と近年の地震被害を考慮した最新の内閣府の手法により建物被害が減少したためである。夏12時の重傷数が若干増加しているが、これは工場等の建設で前回調査と比較して夜間人口より昼間人口の方が多町丁目が増えたためと考えられる。
- ・中丹広域振興局及び丹後広域振興局では、負傷者数及び重傷者数とも微増している。この要因は、今回調査から近年の地震被害を考慮した最新の内閣府の手法に倣って、急傾斜地崩壊による負傷者数及び重傷者数を見込んだためである。

③要救助者

- ・山城広域振興局では、要救助者数が6割程度減少している。この要因は、建物の耐震化の進展と近年の地震被害を考慮した最新の内閣府の手法により建物被害が減少したためである。
- ・南丹広域振興局では、8割程度減少している。この要因は、山城広域振興局同様、建物の耐震化の進展と近年の地震被害を考慮した最新の内閣府の手法により建物被害が減少したためである。
- ・中丹広域振興局では、今回調査では発生していない。この要因は、山城広域振興局同様、建物の耐震化の進展と近年の地震被害を考慮した最新の内閣府の手法により建物被害が減少したためである。
- ・丹後広域振興局では、前回調査、今回調査ともに要救助者は発生していない。

④避難者数

- ・京都市では、発災直後の避難者数は3割程度減少している。この要因は、建物の耐震化の進展と

近年の地震被害を考慮した最新の内閣府の手法により建物被害が減少したためである。

- ・山城広域振興局では 8 割程度、南丹広域振興局及び中丹広域振興局では 9 割以上減少し、丹後広域振興局では 0 となっている。これは、建物の耐震化の進展と近年の地震被害を考慮した最新の内閣府の手法によるものと考えられる。

2.4 ライフライン被害

2.4.1 上水道の被害

(1) 想定結果

- ・上水道の被害としては、管路の被害箇所と断水人口・断水率（直後、1日後、7日後、1ヶ月後）を算定した。
- ・結果は以下のとおりである。

表 2.4-1 上水道の被害（広域振興局）

行政区分	上水道											
	給水人口	管路			直後		1日後		7日後		1ヶ月後	
		人	延長 km	被害 箇所 箇所	被害率 件/km	断水人口 人	断水率 %	断水人口 人	断水率 %	断水人口 人	断水率 %	断水人口 人
京都市	1,442,000	4,300	1,120	0.26	908,000	62.9%	555,000	38.4%	333,000	23.1%	0	0.0%
山城広域振興局	709,000	3,400	500	0.16	368,000	51.9%	200,000	28.3%	127,000	17.9%	16,000	2.3%
南丹広域振興局	130,000	1,700	90	0.05	25,000	19.7%	15,000	11.2%	7,300	5.6%	700	0.5%
中丹広域振興局	187,000	2,200	20	0.01	1,900	1.0%	1,900	1.0%	700	0.4%	0	0.0%
丹後広域振興局	90,000	1,500	*	0.00	300	0.4%	300	0.4%	70	0.1%	0	0.0%
計	2,558,000	13,100	1,730	0.14	1,303,200	51.0%	772,200	30.2%	468,070	18.3%	16,700	0.7%

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値及び京都市の結果と一致しないことがある。

表 2.4-2 上水道の被害（市区町村）

行政区分	上水道												
	給水人口	管路			直後		1日後		7日後		1ヶ月後		
		人	延長 km	被害 箇所 箇所	被害率 件/km	断水人口 人	断水率 %	断水人口 人	断水率 %	断水人口 人	断水率 %	断水人口 人	断水率 %
京都市	北区	116,000	336	71	0.21	71,875	62.2%	42,588	36.8%	25,258	21.9%	0	0.0%
	上京区	83,000	197	57	0.28	57,256	69.3%	33,639	40.7%	21,985	26.6%	0	0.0%
	左京区	163,000	655	165	0.26	108,069	66.3%	67,852	41.6%	42,376	26.0%	0	0.0%
	中京区	109,000	211	66	0.30	79,253	72.6%	47,426	43.5%	32,029	29.4%	0	0.0%
	東山区	36,000	165	52	0.28	23,759	66.7%	14,381	40.4%	9,262	26.0%	0	0.0%
	山科区	133,000	357	117	0.32	95,853	71.9%	60,687	45.5%	39,152	29.4%	0	0.0%
	下京区	82,000	210	71	0.33	61,662	75.1%	37,547	45.7%	25,967	31.6%	0	0.0%
	南区	101,000	328	101	0.30	70,435	69.6%	42,284	41.8%	24,968	24.7%	0	0.0%
	右京区	200,000	588	78	0.13	87,553	43.8%	49,951	25.0%	21,863	10.9%	0	0.0%
	西京区	146,000	437	66	0.15	65,446	44.7%	37,538	25.7%	16,410	11.2%	0	0.0%
伏見区	273,000	785	274	0.35	186,601	68.2%	120,626	44.1%	73,933	27.0%	0	0.0%	
集計	1,442,000	4,269	1,119	0.26	907,762	62.9%	554,519	38.4%	333,202	23.1%	0	0.0%	
山城広域振興局	宇治市	183,846	677	118	0.17	102,806	55.9%	54,528	29.7%	35,387	19.2%	4,320	2.3%
	城陽市	74,295	345	79	0.23	49,248	66.3%	27,266	36.7%	17,474	23.5%	2,110	2.8%
	向日市	57,865	164	37	0.22	37,867	65.4%	20,870	36.1%	15,201	26.3%	2,836	4.9%
	長岡京市	80,679	289	46	0.16	42,311	52.4%	22,252	27.6%	14,718	18.2%	1,825	2.3%
	八幡市	70,239	309	50	0.16	37,146	52.9%	19,553	27.8%	12,158	17.3%	1,429	2.0%
	京田辺市	70,710	335	58	0.17	39,369	55.7%	20,866	29.5%	12,157	17.2%	1,340	1.9%
	木津川市	79,300	563	47	0.08	22,036	27.8%	11,937	15.1%	5,119	6.5%	350	0.4%
	大山崎町	16,348	51	12	0.24	11,052	67.6%	6,165	37.7%	3,970	24.3%	481	2.9%
	久御山町	15,204	109	65	0.59	13,697	90.1%	9,702	63.8%	6,794	44.7%	1,098	7.2%
	井手町	7,195	60	7	0.12	3,061	42.5%	1,597	22.2%	926	12.9%	102	1.4%
	宇治田原町	8,585	91	9	0.10	2,842	33.1%	1,506	17.5%	738	8.6%	65	0.8%
	等置町	1,220	27	1	0.04	115	9.4%	78	6.4%	31	2.5%	1	0.1%
	和束町	3,728	74	2	0.03	259	6.9%	190	5.1%	80	2.1%	5	0.1%
	精華町	36,940	222	12	0.06	6,116	16.6%	3,646	9.9%	1,795	4.9%	160	0.4%
南山城村	2,391	69	1	0.02	69	2.9%	64	2.7%	26	1.1%	1	0.0%	
集計	708,545	3,384	544	0.16	367,994	51.9%	200,220	28.3%	126,574	17.9%	16,123	2.3%	
南丹広域振興局	亀岡市	85,977	619	43	0.07	19,517	22.7%	10,927	12.7%	5,805	6.8%	575	0.7%
	南丹市	30,855	597	35	0.06	5,626	18.2%	3,286	10.7%	1,389	4.5%	88	0.3%
	京丹波町	12,700	487	7	0.02	315	2.5%	305	2.4%	109	0.9%	0	0.0%
集計	129,532	1,703	86	0.05	25,457	19.7%	14,518	11.2%	7,304	5.6%	663	0.5%	
中丹広域振興局	福知山市	76,316	1,006	8	0.01	710	0.9%	710	0.9%	254	0.3%	0	0.0%
	舞鶴市	79,586	617	6	0.01	887	1.1%	887	1.1%	317	0.4%	0	0.0%
	綾部市	30,822	544	5	0.01	317	1.0%	317	1.0%	113	0.4%	0	0.0%
	集計	186,724	2,166	19	0.01	1,914	1.0%	1,914	1.0%	684	0.4%	0	0.0%
丹後広域振興局	宮津市	17,191	225	2	0.01	183	1.1%	183	1.1%	65	0.4%	0	0.0%
	京丹後市	50,235	790	1	0.00	43	0.1%	43	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
	伊根町	1,779	57	0	0.00	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	与謝野町	20,847	377	2	0.01	107	0.5%	107	0.5%	0	0.0%	0	0.0%
集計	90,052	1,450	6	0.00	333	0.4%	333	0.4%	65	0.1%	0	0.0%	
総計	2,556,853	12,973	1,774	0.14	1,303,460	51.0%	771,504	30.2%	467,829	18.3%	16,786	0.7%	

(2) 特徴

- ・上水道の被害として、管路の被害箇所数 1.7 千箇所、発災直後の断水人口 130 万人、1 日後の断水人口 77 万人、7 日後の断水人口 47 万人、1 ヶ月後の断水人口 1.7 万人である。
- ・上水道の被害は、揺れの他に液状化による影響も受けるため、比較的広範囲に被害が発生する傾向にある。
- ・京都市では、管路被害が 1.1 千箇所と全体の 6 割を占める。これは、地震による揺れと液状化の影響である。また、発災直後の断水人口は 91 万人であるが、復旧作業に従事できる事業者数も多いため、1 ヶ月後には復旧する見込みである。
- ・山城広域振興局では、管路被害が 500 箇所である。発災直後の断水人口は 37 万人であり、1 ヶ月後も完全には復旧しない見込みである。特に久御山町では発災直後の断水率 90% と非常に高い。これは久御山町の広範囲で液状化危険度が中以上のためである。因みに復旧見込みは 1.5 ヶ月後である。
- ・南丹広域振興局では、管路被害は 90 箇所である。発災直後の断水人口は 2.5 万人であるが、概ね 1 ヶ月で復旧する見込みである。
- ・中丹広域振興局では、管路被害は 20 箇所である。発災直後の断水人口は 1.9 千人であるが、1 ヶ月後には復旧する見込みである。
- ・丹後広域振興局では、管路被害が若干発生する。発災直後の断水人口は 300 人であるが、1 ヶ月後には復旧する見込みである。

2.4.2 下水道の被害

(1) 想定結果

- ・下水道の被害としては、管路の被害延長と機能支障人口・機能支障率（直後、1日後、7日後、1ヶ月後）を算定した。
- ・結果は以下のとおりである。

表 2.4-3 下水道の被害（広域振興局）

行政区分	処理人口	下水道										
		管路			直後		1日後		7日後		1ヶ月後	
		延長	被害延長	被害率	機能支障人口	機能支障率	機能支障人口	機能支障率	機能支障人口	機能支障率	機能支障人口	機能支障率
人	km	km	%	人	%	人	%	人	%	人	%	
京都市	1,437,000	4,230	320	0.08	108,000	7.5%	100,000	7.0%	65,000	4.5%	0	0.0%
山城広域振興局	691,000	2,800	100	0.05	40,000	5.8%	33,000	4.8%	13,000	1.9%	0	0.0%
南丹広域振興局	118,000	1,100	40	0.03	4,400	3.7%	3,500	3.0%	1,100	1.0%	0	0.0%
中丹広域振興局	166,000	1,500	10	0.01	1,700	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
丹後広域振興局	68,000	700	*	*	200	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	2,480,000	10,330	470	0.05	154,300	6.2%	136,500	5.5%	79,100	3.2%	0	0.0%

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値及び京都市の結果と一致しないことがある。

表 2.4-4 下水道の被害（市区町村）

行政区分	処理人口	下水道											
		管路			直後		1日後		7日後		1ヶ月後		
		延長	被害延長	被害率	機能支障人口	機能支障率	機能支障人口	機能支障率	機能支障人口	機能支障率	機能支障人口	機能支障率	
人	km	km	%	人	%	人	%	人	%	人	%		
京都市	北区	115,169	350	30	8.2%	9,387	8.2%	8,395	7.3%	4,699	4.1%	0	0.0%
	上京区	82,276	180	10	7.1%	5,863	7.1%	5,702	6.9%	4,073	5.0%	0	0.0%
	左京区	162,407	570	50	8.6%	14,019	8.6%	13,214	8.1%	9,058	5.6%	0	0.0%
	中京区	108,718	220	20	7.3%	7,893	7.3%	7,742	7.1%	5,851	5.4%	0	0.0%
	東山区	35,498	140	10	9.6%	3,419	9.6%	3,382	9.5%	2,695	7.6%	0	0.0%
	山科区	132,907	380	30	8.8%	11,751	8.8%	11,104	8.4%	7,400	5.6%	0	0.0%
	下京区	81,817	200	10	6.6%	5,418	6.6%	5,352	6.5%	4,250	5.2%	0	0.0%
	南区	100,854	360	30	7.8%	7,865	7.8%	7,629	7.6%	5,426	5.4%	0	0.0%
	右京区	199,199	570	30	4.4%	8,849	4.4%	7,330	3.7%	3,311	1.7%	0	0.0%
	西京区	145,763	480	30	6.8%	9,854	6.8%	8,030	5.5%	3,307	2.3%	0	0.0%
伏見区	272,492	790	70	8.7%	23,613	8.7%	22,403	8.2%	15,159	5.6%	0	0.0%	
集計	1,437,100	4,230	320	7.6%	107,931	7.5%	100,283	7.0%	65,230	4.5%	0	0.0%	
山城広域振興局	宇治市	177,582	557	35	6.4%	11,297	6.4%	9,333	5.3%	3,556	2.0%	0	0.0%
	城陽市	74,005	275	17	6.2%	4,597	6.2%	3,873	5.2%	1,627	2.2%	0	0.0%
	向日市	56,662	139	15	10.9%	6,148	10.9%	5,964	10.5%	4,164	7.3%	0	0.0%
	長岡京市	81,869	229	14	6.0%	4,927	6.0%	3,732	4.6%	1,028	1.3%	0	0.0%
	八幡市	69,312	282	13	4.8%	3,304	4.8%	2,429	3.5%	590	0.9%	0	0.0%
	京田辺市	71,172	284	13	4.7%	3,356	4.7%	2,681	3.8%	889	1.2%	0	0.0%
	木津川市	75,125	501	13	2.6%	1,935	2.6%	1,168	1.6%	0	0.0%	0	0.0%
	大山崎町	16,494	50	4	7.2%	1,185	7.2%	1,029	6.2%	494	3.0%	0	0.0%
	久御山町	15,439	107	10	8.9%	1,374	8.9%	1,213	7.9%	619	4.0%	0	0.0%
	井手町	7,006	64	3	5.1%	357	5.1%	290	4.1%	101	1.4%	0	0.0%
	宇治田原町	7,826	68	3	4.7%	370	4.7%	296	3.8%	99	1.3%	0	0.0%
	笠置町	0	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	和束町	2,174	37	1	1.7%	37	1.7%	23	1.1%	2	0.1%	0	0.0%
	精華町	36,378	175	6	3.3%	1,213	3.3%	953	2.6%	299	0.8%	0	0.0%
南山城村	0	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
集計	691,044	2,769	147	5.3%	40,099	5.8%	32,984	4.8%	13,468	1.9%	0	0.0%	
南丹広域振興局	亀岡市	82,915	525	23	4.3%	3,553	4.3%	2,869	3.5%	983	1.2%	0	0.0%
	南丹市	27,208	441	12	2.7%	738	2.7%	554	2.0%	147	0.5%	0	0.0%
	京丹波町	8,233	158	3	1.7%	143	1.7%	86	1.1%	0	0.0%	0	0.0%
	集計	118,356	1,125	37	3.3%	4,434	3.7%	3,509	3.0%	1,130	1.0%	0	0.0%
中丹広域振興局	福知山市	71,934	831	5	0.6%	443	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	舞鶴市	73,182	511	7	1.4%	997	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	綾部市	20,561	123	1	1.0%	209	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
集計	165,677	1,465	13	0.9%	1,650	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
丹後広域振興局	宮津市	11,978	116	1	0.7%	87	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	京丹後市	35,315	417	0	0.0%	7	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	伊根町	1,089	13	0	0.1%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	与謝野町	19,135	188	1	0.4%	75	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
集計	67,517	734	2	0.2%	171	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
総計	2,479,694	10,323	519	5.0%	154,286	6.2%	136,776	5.5%	79,828	3.2%	0	0.0%	

(2) 特徴

- ・下水道の被害として、管路の被害延長は 470km、発災直後の機能支障人口は 15 万人であり、1 日後には 14 万人、7 日後には 7.9 万人に減少し、1 ヶ月後には 0 となる。
- ・下水道の被害は、上水道と同様、揺れの他に液状化による影響も受けるため、比較的広範囲に被害が発生する傾向にある。
- ・京都市では、管路被害延長が 320km と全体の 7 割を占める。これは、地震による揺れと液状化の被害が大きいためである。また、発災直後の機能支障人口は 11 万人であり、1 ヶ月後には復旧する見込みである。
- ・山城広域振興局では、管路被害延長が 150km である。発災直後の機能支障人口は 4 万人であり、1 ヶ月後には復旧する見込みである。
- ・南丹広域振興局では、管路被害延長が 40km である。発災直後の機能支障人口は 4.4 千人であるが、1 ヶ月後には復旧する見込みである。
- ・中丹広域振興局では、管路被害延長は 10km である。発災直後の機能支障人口は 1.7 千人であり、1 日後には復旧する見込みである。
- ・丹後広域振興局では、管路被害が若干発生する。発災直後の機能支障人口は 200 人であり、1 日後には復旧する見込みである。

2.4.3 電力の被害

(1) 想定結果

- ・電力の被害としては、停電軒数・停電率（直後、1日後、4日後、7日後）を算定した。
- ・結果は以下のとおりである。

表 2.4-5 電力の被害（冬5時）（広域振興局）

行政区分	電力(冬5時)									
	電灯 軒数	発災直後		電灯軒数 (焼失分 除く)	1日後		4日後		7日後	
		停電軒数	停電率		停電軒数	停電率	停電軒数	停電率	停電軒数	停電率
	軒	軒	%	軒	軒	%	軒	%	軒	%
京都市	927,000	47,000	5.1%	916,000	33,000	3.6%	8,700	0.9%	1,600	0.2%
山城広域振興局	356,000	2,500	0.7%	356,000	1,400	0.4%	200	*	*	*
南丹広域振興局	82,000	100	0.2%	82,000	50	0.1%	*	*	0	0.0%
中丹広域振興局	126,000	0	0.0%	126,000	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
丹後広域振興局	63,000	0	0.0%	63,000	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	1,554,000	49,600	3.2%	1,543,000	34,450	2.2%	8,900	0.6%	1,600	0.1%

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値及び京都市の結果と一致しないことがある。

表 2.4-6 電力の被害（夏12時）（広域振興局）

行政区分	電力(夏12時)									
	電灯 軒数	発災直後		電灯軒数 (焼失分除く)	1日後		4日後		7日後	
		停電軒数	停電率		停電軒数	停電率	停電軒数	停電率	停電軒数	停電率
	軒	軒	%	軒	軒	%	軒	%	軒	%
京都市	927,000	50,000	5.4%	912,000	34,000	3.8%	9,100	1.0%	1,700	0.2%
山城広域振興局	356,000	2,700	0.7%	356,000	1,400	0.4%	200	0.1%	30	*
南丹広域振興局	82,000	100	0.2%	82,000	40	0.1%	*	*	0	0.0%
中丹広域振興局	126,000	0	0.0%	126,000	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
丹後広域振興局	63,000	0	0.0%	63,000	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	1,554,000	52,800	3.4%	1,539,000	35,440	2.3%	9,300	0.6%	1,730	0.1%

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値及び京都市の結果と一致しないことがある。

表 2.4-7 電力の被害（冬18時）（広域振興局）

行政区分	電力(冬18時)									
	電灯 軒数	発災直後		電灯軒数 (焼失分除く)	1日後		4日後		7日後	
		停電軒数	停電率		停電軒数	停電率	停電軒数	停電率	停電軒数	停電率
	軒	軒	%	軒	軒	%	軒	%	軒	%
京都市	927,000	67,000	7.2%	894,000	43,000	4.8%	11,000	1.2%	2,000	0.2%
山城広域振興局	356,000	5,300	1.5%	353,000	2,800	0.8%	500	0.1%	70	*
南丹広域振興局	82,000	100	0.2%	82,000	40	0.1%	*	*	0	0.0%
中丹広域振興局	126,000	0	0.0%	126,000	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
丹後広域振興局	63,000	0	0.0%	63,000	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	1,554,000	72,400	4.7%	1,518,000	45,840	3.0%	11,500	0.8%	2,070	0.1%

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値及び京都市の結果と一致しないことがある。

表 2.4-8 電力の被害（冬5時）（市区町村）

行政区分	電力(冬5時)										
	電灯 軒数	発災直後		電灯軒数 (焼失分 除く)	1日後		4日後		7日後		
		停電軒数	停電率		停電軒数	停電率	停電軒数	停電率	停電軒数	停電率	
	軒	軒	%	軒	軒	%	軒	%	軒	%	
京都市	北区	89,025	4,773	5.4%	87,000	3,285	3.8%	861	1.0%	157	0.2%
	上京区	58,380	4,883	8.4%	57,000	3,524	6.1%	951	1.7%	176	0.3%
	左京区	109,959	7,340	6.7%	109,000	5,854	5.4%	1,756	1.6%	343	0.3%
	中京区	90,342	6,608	7.3%	89,000	4,761	5.3%	1,274	1.4%	235	0.3%
	東山区	36,257	3,364	9.3%	36,000	2,693	7.5%	809	2.3%	158	0.4%
	山科区	76,827	2,627	3.4%	76,000	1,593	2.1%	353	0.5%	57	0.1%
	下京区	59,111	4,003	6.8%	59,000	2,877	4.9%	767	1.3%	141	0.2%
	南区	65,064	2,426	3.7%	65,000	1,597	2.5%	382	0.6%	66	0.1%
	右京区	105,766	2,200	2.1%	104,000	695	0.7%	76	0.1%	8	0.0%
	西京区	76,312	1,751	2.3%	75,000	834	1.1%	140	0.2%	18	0.0%
伏見区	160,299	7,013	4.4%	159,000	4,947	3.1%	1,299	0.8%	236	0.1%	
	集計	927,342	46,987	5.1%	916,000	32,661	3.6%	8,669	0.9%	1,596	0.2%
山城広域 振興局	宇治市	90,813	686	0.8%	90,813	363	0.4%	0	0.0%	0	0.0%
	城陽市	36,928	228	0.6%	36,928	111	0.3%	14	0.0%	0	0.0%
	向日市	26,752	501	1.9%	26,710	321	1.2%	67	0.3%	2	0.0%
	長岡京市	40,226	423	1.1%	40,205	241	0.6%	41	0.1%	1	0.0%
	八幡市	36,867	277	0.8%	36,867	147	0.4%	18	0.0%	0	0.0%
	京田辺市	38,267	100	0.3%	38,267	38	0.1%	4	0.0%	0	0.0%
	木津川市	37,277	30	0.1%	37,277	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	大山崎町	8,017	45	0.6%	8,015	24	0.3%	3	0.0%	0	0.0%
	久御山町	9,835	153	1.6%	9,835	98	1.0%	20	0.2%	0	0.0%
	井手町	4,153	9	0.2%	4,153	4	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
	宇治田原町	4,649	9	0.2%	4,649	5	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
	笠置町	1,020	1	0.1%	1,020	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	和束町	2,539	2	0.1%	2,539	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	精華町	16,472	18	0.1%	16,472	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
南山城村	2,114	1	0.0%	2,114	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	集計	355,929	2,484	0.7%	355,863	1,353	0.4%	168	0.0%	3	0.0%
南丹広域 振興局	亀岡市	47,934	111	0.2%	47,934	48	0.1%	4	0.0%	0	0.0%
	南丹市	22,925	16	0.1%	22,925	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	京丹波町	10,874	0	0.0%	10,874	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	集計	81,733	128	0.2%	81,733	48	0.1%	4	0.0%	0	0.0%
中丹広域 振興局	福知山市	50,809	0	0.0%	50,809	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	舞鶴市	52,691	0	0.0%	52,691	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	綾部市	22,946	0	0.0%	22,946	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	集計	126,446	0	0.0%	126,446	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
丹後広域 振興局	宮津市	14,861	0	0.0%	14,861	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	京丹後市	33,484	0	0.0%	33,484	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	伊根町	2,313	0	0.0%	2,313	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	与謝野町	12,129	0	0.0%	12,129	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	集計	62,787	0	0.0%	62,787	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	総計	1,554,237	49,599	3.2%	1,542,829	34,062	2.2%	8,841	0.6%	1,599	0.1%

表 2.4-9 電力の被害（夏12時）（市区町村）

行政区分	電力(夏12時)										
	電灯 軒数	発災直後			電灯軒数 (焼失分除く)	1日後		4日後		7日後	
		停電軒数	停電率	軒		停電軒数	停電率	停電軒数	停電率	停電軒数	停電率
		軒	%			軒	%	軒	%	軒	%
京都市	北区	89,025	5,020	5.6%	87,000	3,402	3.9%	885	1.0%	161	0.2%
	上京区	58,380	5,164	8.8%	57,000	3,694	6.5%	997	1.7%	184	0.3%
	左京区	109,959	7,732	7.0%	108,000	6,117	5.6%	1,833	1.7%	358	0.3%
	中京区	90,342	6,933	7.7%	89,000	4,928	5.5%	1,306	1.5%	239	0.3%
	東山区	36,257	3,525	9.7%	36,000	2,805	7.9%	843	2.4%	165	0.5%
	山科区	76,827	3,045	4.0%	75,000	1,800	2.4%	389	0.5%	62	0.1%
	下京区	59,111	4,267	7.2%	58,000	3,033	5.2%	803	1.4%	147	0.3%
	南区	65,064	2,661	4.1%	64,000	1,738	2.7%	414	0.6%	71	0.1%
	右京区	105,766	2,539	2.4%	104,000	781	0.8%	83	0.1%	8	0.0%
	西京区	76,312	1,850	2.4%	75,000	865	1.2%	146	0.2%	19	0.0%
	伏見区	160,299	7,633	4.8%	158,000	5,332	3.4%	1,395	0.9%	254	0.2%
	集計	927,342	50,367	5.4%	912,000	34,495	3.8%	9,095	1.0%	1,669	0.2%
山城広域 振興局	宇治市	90,813	704	0.8%	90,795	339	0.4%	42	0.0%	5	0.0%
	城陽市	36,928	228	0.6%	36,928	110	0.3%	14	0.0%	2	0.0%
	向日市	26,752	583	2.2%	26,625	365	1.4%	78	0.3%	14	0.1%
	長岡京市	40,226	459	1.1%	40,168	256	0.6%	44	0.1%	7	0.0%
	八幡市	36,867	296	0.8%	36,848	147	0.4%	19	0.1%	2	0.0%
	京田辺市	38,267	100	0.3%	38,267	39	0.1%	4	0.0%	0	0.0%
	木津川市	37,277	30	0.1%	37,277	7	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	大山崎町	8,017	50	0.6%	8,011	25	0.3%	3	0.0%	0	0.0%
	久御山町	9,835	163	1.7%	9,825	100	1.0%	21	0.2%	4	0.0%
	井手町	4,153	9	0.2%	4,153	3	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
	宇治田原町	4,649	9	0.2%	4,649	4	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
	笠置町	1,020	1	0.1%	1,020	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	和束町	2,539	2	0.1%	2,539	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	精華町	16,472	18	0.1%	16,472	5	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	南山城村	2,114	1	0.0%	2,114	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	集計	355,929	2,651	0.7%	355,690	1,402	0.4%	227	0.1%	34	0.0%
南丹広域 振興局	亀岡市	47,934	111	0.2%	47,934	40	0.1%	4	0.0%	0	0.0%
	南丹市	22,925	16	0.1%	22,925	3	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	京丹波町	10,874	0	0.0%	10,874	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	集計	81,733	128	0.2%	81,733	43	0.1%	4	0.0%	0	0.0%
中丹広域 振興局	福知山市	50,809	0	0.0%	50,809	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	舞鶴市	52,691	0	0.0%	52,691	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	綾部市	22,946	0	0.0%	22,946	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	集計	126,446	0	0.0%	126,446	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
丹後広域 振興局	宮津市	14,861	0	0.0%	14,861	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	京丹後市	33,484	0	0.0%	33,484	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	伊根町	2,313	0	0.0%	2,313	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	与謝野町	12,129	0	0.0%	12,129	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	集計	62,787	0	0.0%	62,787	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	総計	1,554,237	53,146	3.4%	1,538,656	35,940	2.3%	9,326	0.6%	1,703	0.1%

表 2.4-10 電力の被害（冬 18 時）（市区町村）

行政区分	電力(冬18時)										
	電灯 軒数	発災直後		電灯軒数 (焼失分除く)	1日後		4日後		7日後		
		停電軒数	停電率		停電軒数	停電率	停電軒数	停電率	停電軒数	停電率	
	軒	軒	%	軒	軒	%	軒	%	軒	%	
京都市	北区	89,025	7,075	7.9%	85,000	4,459	5.2%	1,130	1.3%	203	0.2%
	上京区	58,380	6,258	10.7%	56,000	4,349	7.8%	1,168	2.1%	215	0.4%
	左京区	109,959	9,361	8.5%	107,000	7,107	6.7%	2,106	2.0%	410	0.4%
	中京区	90,342	8,402	9.3%	87,000	5,732	6.6%	1,494	1.7%	271	0.3%
	東山区	36,257	4,114	11.3%	35,000	3,182	9.1%	954	2.7%	186	0.5%
	山科区	76,827	4,979	6.5%	73,000	2,743	3.7%	574	0.8%	89	0.1%
	下京区	59,111	4,770	8.1%	58,000	3,326	5.8%	876	1.5%	160	0.3%
	南区	65,064	3,338	5.1%	64,000	2,132	3.3%	507	0.8%	87	0.1%
	右京区	105,766	4,938	4.7%	101,000	1,427	1.4%	149	0.1%	15	0.0%
	西京区	76,312	3,549	4.7%	73,000	1,545	2.1%	251	0.3%	32	0.0%
伏見区	160,299	10,318	6.4%	155,000	6,917	4.5%	1,793	1.2%	324	0.2%	
	集計	927,342	67,101	7.2%	894,000	42,920	4.8%	11,001	1.2%	1,992	0.2%
山城広域 振興局	宇治市	90,813	1,541	1.7%	89,936	743	0.8%	93	0.1%	11	0.0%
	城陽市	36,928	401	1.1%	36,751	194	0.5%	24	0.1%	3	0.0%
	向日市	26,752	1,392	5.2%	25,786	871	3.4%	187	0.7%	33	0.1%
	長岡京市	40,226	1,018	2.5%	39,596	568	1.4%	98	0.2%	15	0.0%
	八幡市	36,867	429	1.2%	36,711	214	0.6%	27	0.1%	3	0.0%
	京田辺市	38,267	100	0.3%	38,267	39	0.1%	4	0.0%	0	0.0%
	木津川市	37,277	30	0.1%	37,277	7	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	大山崎町	8,017	94	1.2%	7,966	47	0.6%	6	0.1%	1	0.0%
	久御山町	9,835	213	2.2%	9,772	131	1.3%	27	0.3%	5	0.0%
	井手町	4,153	10	0.2%	4,153	3	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
	宇治田原町	4,649	9	0.2%	4,649	4	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
	笠置町	1,020	1	0.1%	1,020	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	和束町	2,539	2	0.1%	2,539	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	精華町	16,472	18	0.1%	16,472	5	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
南山城村	2,114	1	0.0%	2,114	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	集計	355,929	5,259	1.5%	353,009	2,828	0.8%	468	0.1%	72	0.0%
南丹広域 振興局	亀岡市	47,934	111	0.2%	47,934	40	0.1%	4	0.0%	0	0.0%
	南丹市	22,925	16	0.1%	22,925	3	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	京丹波町	10,874	0	0.0%	10,874	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	集計	81,733	128	0.2%	81,733	43	0.1%	4	0.0%	0	0.0%
中丹広域 振興局	福知山市	50,809	0	0.0%	50,809	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	舞鶴市	52,691	0	0.0%	52,691	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	綾部市	22,946	0	0.0%	22,946	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	集計	126,446	0	0.0%	126,446	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
丹後広域 振興局	宮津市	14,861	0	0.0%	14,861	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	京丹後市	33,484	0	0.0%	33,484	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	伊根町	2,313	0	0.0%	2,313	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	与謝野町	12,129	0	0.0%	12,129	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	集計	62,787	0	0.0%	62,787	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	1,554,237	72,488	4.7%	1,517,975	45,791	3.0%	11,474	0.8%	2,064	0.1%	

(2) 特徴

- ・電力の被害は、冬 18 時が最大となり、発災直後の停電軒数が 7.2 万軒、1 日後が 4.6 万軒、4 日後が 1.1 万軒、7 日後が 2 千軒である。府全域の復旧見込みは概ね 1 週間後となっている。この要因は、電力被害は火災による延焼の影響のためである。
- ・京都市では、冬 18 時が最大で発災直後の停電軒数が 6.7 万軒と府全域の 93% を占める。これは、火災の被害が最も大きいためである。また、発災直後に 7.2% で停電が生じ、概ね 1 週間後で復旧する見込みである。
- ・山城広域振興局でも、冬 18 時が最大で発災直後の停電軒数が 5 千軒である。発災直後に 1.5% で停電が生じ、概ね 1 週間後で復旧する見込みである。
- ・南丹広域振興局では、発災直後の停電軒数が 100 軒である。発災直後に 0.2% で停電が生じ、1 週間後には復旧する見込みである。
- ・中丹広域振興局と丹後広域振興局では、停電は発生しない。

2.4.4 通信の被害

(1) 想定結果

- ・通信の被害として、固定電話等の不通回線数・不通回線率（直後、1日後、4日後、7日後）を算定した。
- ・結果は以下のとおりである。

表 2.4-11 通信の被害（冬5時）（広域振興局）

行政区分	通信(冬5時)									
	回線数	発災直後		回線数 (焼失分除く)	1日後		4日後		7日後	
		不通回線数	不通率		不通回線数	不通率	不通回線数	不通率	不通回線数	不通率
	軒	回線	%	回線	回線	%	回線	%	回線	%
京都市	594,000	56,000	9.5%	586,000	37,000	6.4%	9,900	1.7%	1,800	0.3%
山城広域振興局	236,000	3,800	1.6%	236,000	1,400	0.6%	100	0.1%	*	*
南丹広域振興局	45,000	200	0.3%	45,000	30	0.1%	*	*	0	0.0%
中丹広域振興局	71,000	0	0.0%	71,000	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
丹後広域振興局	46,000	0	0.0%	46,000	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	992,000	60,000	6.1%	984,000	38,430	3.9%	10,000	1.0%	1,800	0.2%

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値及び京都市の結果と一致しないことがある。

表 2.4-12 通信の被害（夏12時）（広域振興局）

行政区分	通信(夏12時)									
	回線数	発災直後		回線数 (焼失分除く)	1日後		4日後		7日後	
		不通回線数	不通率		不通回線数	不通率	不通回線数	不通率	不通回線数	不通率
	軒	回線	%	回線	回線	%	回線	%	回線	%
京都市	594,000	61,000	10.2%	583,000	40,000	6.8%	10,000	1.8%	1,900	0.3%
山城広域振興局	236,000	4,100	1.8%	236,000	1,500	0.6%	200	0.1%	20	*
南丹広域振興局	45,000	200	0.3%	45,000	30	0.1%	*	*	0	0.0%
中丹広域振興局	71,000	0	0.0%	71,000	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
丹後広域振興局	46,000	0	0.0%	46,000	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	992,000	65,300	6.5%	981,000	41,530	4.2%	10,200	1.1%	1,920	0.2%

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値及び京都市の結果と一致しないことがある。

表 2.4-13 通信の被害（冬18時）（広域振興局）

行政区分	通信(冬18時)									
	回線数	発災直後		回線数 (焼失分除く)	1日後		4日後		7日後	
		不通回線数	不通率		不通回線数	不通率	不通回線数	不通率	不通回線数	不通率
	軒	回線	%	回線	回線	%	回線	%	回線	%
京都市	594,000	82,000	13.8%	570,000	49,000	8.6%	12,000	2.2%	2,200	0.4%
山城広域振興局	236,000	8,400	3.6%	233,000	3,200	1.4%	400	0.2%	40	*
南丹広域振興局	45,000	200	0.3%	45,000	30	0.1%	*	*	0	0.0%
中丹広域振興局	71,000	0	0.0%	71,000	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
丹後広域振興局	46,000	0	0.0%	46,000	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	992,000	90,600	9.1%	965,000	52,230	5.4%	12,400	1.3%	2,240	0.2%

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値及び京都市の結果と一致しないことがある。

表 2.4-14 通信の被害（冬5時）（市区町村）

行政区分		通信（冬5時）										
		回線数	発災直後			回線数 (焼失分除 く)	1日後		4日後		7日後	
			不通 回線数	不通率	回線		不通 回線数	不通率	不通 回線数	不通率	不通 回線数	不通率
京都市	北区	46,563	4,892	10.5%	46,000	3,263	7.1%	855	1.9%	156	0.3%	
	上京区	39,086	6,302	16.1%	38,000	4,437	11.6%	1,199	3.1%	222	0.6%	
	左京区	69,801	8,720	12.5%	69,000	6,802	9.9%	2,032	2.9%	397	0.6%	
	中京区	49,370	6,874	13.9%	49,000	4,801	9.9%	1,275	2.6%	234	0.5%	
	東山区	16,742	2,956	17.7%	17,000	2,334	14.1%	703	4.2%	138	0.8%	
	山科区	52,438	3,569	6.8%	52,000	2,101	4.1%	470	0.9%	77	0.1%	
	下京区	39,335	5,063	12.9%	39,000	3,540	9.1%	938	2.4%	172	0.4%	
	南区	41,106	3,008	7.3%	41,000	1,936	4.7%	464	1.1%	80	0.2%	
	右京区	79,672	3,320	4.2%	78,000	927	1.2%	103	0.1%	10	0.0%	
	西京区	52,992	2,489	4.7%	52,000	1,122	2.2%	190	0.4%	25	0.0%	
	伏見区	106,895	9,074	8.5%	106,000	6,225	5.9%	1,626	1.5%	295	0.3%	
	集計	594,000	56,267	9.5%	586,000	37,488	6.4%	9,855	1.7%	1,805	0.3%	
山城広域 振興局	宇治市	55,971	839	1.5%	55,971	143	0.3%	4	0.0%	0	0.0%	
	城陽市	20,964	257	1.2%	20,964	44	0.2%	1	0.0%	0	0.0%	
	向日市	34,285	1,269	3.7%	34,231	637	1.9%	81	0.2%	1	0.0%	
	長岡京市	27,230	569	2.1%	27,216	286	1.0%	36	0.1%	0	0.0%	
	八幡市	23,844	356	1.5%	23,844	61	0.3%	2	0.0%	0	0.0%	
	京田辺市	20,069	105	0.5%	20,069	18	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	
	木津川市	21,800	35	0.2%	21,800	6	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	大山崎町	5,804	65	1.1%	5,803	33	0.6%	4	0.1%	0	0.0%	
	久御山町	9,062	278	3.1%	9,062	140	1.5%	18	0.2%	0	0.0%	
	井手町	2,827	13	0.5%	2,827	2	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	
	宇治田原町	3,106	12	0.4%	3,106	2	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	
	笠置町	307	1	0.2%	307	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	和束町	2,342	4	0.2%	2,342	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	精華町	7,825	17	0.2%	7,825	3	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	南山城村	437	0	0.1%	437	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	集計	235,873	3,820	1.6%	235,803	1,375	0.6%	147	0.1%	1	0.0%	
南丹広域 振興局	亀岡市	28,902	134	0.5%	28,902	23	0.1%	1	0.0%	0	0.0%	
	南丹市	12,861	18	0.1%	12,861	3	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	京丹波町	3,203	0	0.0%	3,203	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	集計	44,966	152	0.3%	44,966	26	0.1%	1	0.0%	0	0.0%	
中丹広域 振興局	福知山市	30,242	0	0.0%	30,242	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	舞鶴市	28,522	0	0.0%	28,522	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	綾部市	12,584	0	0.0%	12,584	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	集計	71,348	0	0.0%	71,348	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
丹後広域 振興局	宮津市	9,136	0	0.0%	9,136	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	京丹後市	25,553	0	0.0%	25,553	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	伊根町	1,445	0	0.0%	1,445	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	与謝野町	10,340	0	0.0%	10,340	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	集計	46,474	0	0.0%	46,474	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	総計	992,661	60,240	6.1%	984,591	38,889	3.9%	10,002	1.0%	1,806	0.2%	

表 2.4-15 通信の被害（夏 12 時）（市区町村）

行政区分		通信(夏12時)									
		回線数	発災直後		回線数 (焼失分除く)	1日後		4日後		7日後	
			不通 回線数	不通率		不通 回線数	不通率	不通 回線数	不通率	不通 回線数	不通率
			軒	回線		%	回線	%	回線	%	回線
京都市	北区	46,563	5,152	11.1%	46,000	3,370	7.4%	877	1.9%	160	0.4%
	上京区	39,086	6,661	17.0%	38,000	4,633	12.2%	1,252	3.3%	231	0.6%
	左京区	69,801	9,213	13.2%	69,000	7,104	10.3%	2,120	3.1%	414	0.6%
	中京区	49,370	7,253	14.7%	48,000	4,972	10.3%	1,306	2.7%	238	0.5%
	東山区	16,742	3,097	18.5%	16,000	2,423	14.7%	729	4.4%	143	0.9%
	山科区	52,438	4,174	8.0%	51,000	2,381	4.6%	520	1.0%	83	0.2%
	下京区	39,335	5,411	13.8%	39,000	3,726	9.6%	981	2.5%	179	0.5%
	南区	41,106	3,312	8.1%	41,000	2,109	5.2%	503	1.2%	87	0.2%
	右京区	79,672	3,838	4.8%	78,000	1,038	1.3%	112	0.1%	11	0.0%
	西京区	52,992	2,664	5.0%	52,000	1,171	2.3%	199	0.4%	27	0.1%
	伏見区	106,895	9,909	9.3%	105,000	6,712	6.4%	1,746	1.7%	316	0.3%
	集計	594,000	60,685	10.2%	583,000	39,639	6.8%	10,344	1.8%	1,888	0.3%
山城広域 振興局	宇治市	55,971	860	1.5%	55,960	147	0.3%	4	0.0%	0	0.0%
	城陽市	20,964	257	1.2%	20,964	44	0.2%	1	0.0%	0	0.0%
	向日市	34,285	1,473	4.3%	34,122	740	2.2%	94	0.3%	11	0.0%
	長岡京市	27,230	617	2.3%	27,191	310	1.1%	39	0.1%	5	0.0%
	八幡市	23,844	380	1.6%	23,832	65	0.3%	2	0.0%	0	0.0%
	京田辺市	20,069	105	0.5%	20,069	18	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
	木津川市	21,800	35	0.2%	21,800	6	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	大山崎町	5,804	72	1.2%	5,799	36	0.6%	5	0.1%	1	0.0%
	久御山町	9,062	296	3.3%	9,053	149	1.6%	19	0.2%	2	0.0%
	井手町	2,827	13	0.5%	2,827	2	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
	宇治田原町	3,106	12	0.4%	3,106	2	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
	笠置町	307	1	0.2%	307	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	和束町	2,342	4	0.2%	2,342	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	精華町	7,825	17	0.2%	7,825	3	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	南山城村	437	0	0.1%	437	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	集計	235,873	4,141	1.8%	235,633	1,521	0.6%	164	0.1%	18	0.0%
南丹広域 振興局	亀岡市	28,902	134	0.5%	28,902	23	0.1%	1	0.0%	0	0.0%
	南丹市	12,861	18	0.1%	12,861	3	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	京丹波町	3,203	0	0.0%	3,203	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	集計	44,966	152	0.3%	44,966	26	0.1%	1	0.0%	0	0.0%
中丹広域 振興局	福知山市	30,242	0	0.0%	30,242	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	舞鶴市	28,522	0	0.0%	28,522	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	綾部市	12,584	0	0.0%	12,584	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	集計	71,348	0	0.0%	71,348	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
丹後広域 振興局	宮津市	9,136	0	0.0%	9,136	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	京丹後市	25,553	0	0.0%	25,553	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	伊根町	1,445	0	0.0%	1,445	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	与謝野町	10,340	0	0.0%	10,340	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	集計	46,474	0	0.0%	46,474	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	総計	992,661	64,978	6.5%	981,421	41,186	4.2%	10,508	1.1%	1,906	0.2%

表 2.4-16 通信の被害（冬 18 時）（市区町村）

行政区分	通信(冬18時)										
	回線数	発災直後			回線数 (焼失分除く)	1日後		4日後		7日後	
		不通 回線数	不通率	回線		不通 回線数	不通率	不通 回線数	不通率	不通 回線数	不通率
		軒	回線			%	回線	%	回線	%	回線
京都市	北区	46,563	7,237	15.5%	44,000	4,322	9.8%	1,094	2.5%	196	0.4%
	上京区	39,086	8,031	20.5%	37,000	5,363	14.4%	1,443	3.9%	266	0.7%
	左京区	69,801	11,240	16.1%	67,000	8,201	12.2%	2,419	3.6%	470	0.7%
	中京区	49,370	8,845	17.9%	47,000	5,734	12.1%	1,478	3.1%	266	0.6%
	東山区	16,742	3,622	21.6%	16,000	2,720	16.9%	816	5.1%	160	1.0%
	山科区	52,438	6,714	12.8%	50,000	3,499	7.0%	737	1.5%	115	0.2%
	下京区	39,335	6,101	15.5%	38,000	4,088	10.7%	1,070	2.8%	194	0.5%
	南区	41,106	4,150	10.1%	40,000	2,568	6.4%	611	1.5%	105	0.3%
	右京区	79,672	7,461	9.4%	76,000	1,859	2.4%	196	0.3%	19	0.0%
	西京区	52,992	5,023	9.5%	51,000	2,026	4.0%	332	0.7%	43	0.1%
伏見区	106,895	13,446	12.6%	103,000	8,646	8.4%	2,229	2.2%	402	0.4%	
	集計	594,000	81,869	13.8%	570,000	49,026	8.6%	12,425	2.2%	2,236	0.4%
山城広域 振興局	宇治市	55,971	1,867	3.3%	55,431	318	0.6%	8	0.0%	0	0.0%
	城陽市	20,964	452	2.2%	20,864	77	0.4%	2	0.0%	0	0.0%
	向日市	34,285	3,453	10.1%	33,047	1,734	5.2%	220	0.7%	26	0.1%
	長岡京市	27,230	1,353	5.0%	26,804	679	2.5%	86	0.3%	10	0.0%
	八幡市	23,844	549	2.3%	23,743	94	0.4%	2	0.0%	0	0.0%
	京田辺市	20,069	105	0.5%	20,069	18	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
	木津川市	21,800	35	0.2%	21,800	6	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	大山崎町	5,804	135	2.3%	5,767	68	1.2%	9	0.1%	1	0.0%
	久御山町	9,062	386	4.3%	9,004	194	2.2%	25	0.3%	3	0.0%
	井手町	2,827	13	0.5%	2,827	2	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
	宇治田原町	3,106	12	0.4%	3,106	2	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
	笠置町	307	1	0.2%	307	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	和束町	2,342	4	0.2%	2,342	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	精華町	7,825	17	0.2%	7,825	3	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	南山城村	437	0	0.1%	437	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	集計	235,873	8,382	3.6%	233,372	3,196	1.4%	354	0.2%	40	0.0%
南丹広域 振興局	亀岡市	28,902	134	0.5%	28,902	23	0.1%	1	0.0%	0	0.0%
	南丹市	12,861	18	0.1%	12,861	3	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	京丹波町	3,203	0	0.0%	3,203	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	集計	44,966	152	0.3%	44,966	26	0.1%	1	0.0%	0	0.0%
中丹広域 振興局	福知山市	30,242	0	0.0%	30,242	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	舞鶴市	28,522	0	0.0%	28,522	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	綾部市	12,584	0	0.0%	12,584	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	集計	71,348	0	0.0%	71,348	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
丹後広域 振興局	宮津市	9,136	0	0.0%	9,136	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	京丹後市	25,553	0	0.0%	25,553	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	伊根町	1,445	0	0.0%	1,445	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	与謝野町	10,340	0	0.0%	10,340	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	集計	46,474	0	0.0%	46,474	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	総計	992,661	90,404	9.1%	966,160	52,248	5.4%	12,779	1.3%	2,276	0.2%

(2) 特徴

- ・固定電話等の通信の被害は、冬 18 時が最大となり、発災直後の不通回線数が 9.0 万回線、1 日後が 5.2 万回線、4 日後が 1.3 万回線、7 日後が 2 千回線である。府全域の復旧見込みは概ね 1 週間となる。この要因は、通信被害が火災による延焼と停電の影響を受けるためである。
- ・京都市では、冬 18 時が最大で発災直後の不通回線数が 8.2 万回線と府全域の 9 割を占める。これは、地震による揺れと火災の被害、停電件数が最も大きいためである。また、発災直後には、回線数の 13.8% が不通となり、概ね 1 週間で復旧する見込みである。
- ・山城広域振興局でも、冬 18 時が最大で発災直後の不通回線数が 8.4 千回線である。発災直後には、回線数の 3.6% が不通となり、概ね 1 週間で復旧する見込みである。
- ・南丹広域振興局では、発災直後の不通回線数が 200 回線である。発災直後には、回線数の 0.3% が不通となり、7 日後には復旧する見込みである。
- ・丹後広域振興局と中丹広域振興局では、回線の障害は想定されない。

2.4.5 携帯電話の被害

(1) 想定結果

- ・携帯電話の被害として、携帯電話基地局の停波率（直後、1日後、4日後、7日後）を算定した。
- ・結果は以下のとおりである。

表 2.4-17 携帯電話の被害（広域振興局）

行政区分	停波基地局率											
	冬5時				夏12時				冬18時			
	発災直後	1日後	4日後	7日後	発災直後	1日後	4日後	7日後	発災直後	1日後	4日後	7日後
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
京都市	14.1%	9.7%	2.6%	0.5%	15.1%	10.3%	2.8%	0.5%	20.0%	13.0%	3.4%	0.6%
山城広域振興局	2.3%	0.9%	0.1%	*	2.5%	1.0%	0.1%	*	5.0%	2.2%	0.3%	*
南丹広域振興局	0.4%	0.1%	*	0.0%	0.4%	0.1%	*	0.0%	0.4%	0.1%	*	0.0%
中丹広域振興局	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
丹後広域振興局	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
計	1.4%	0.6%	0.1%	0.0%	1.5%	0.6%	0.1%	*	3.0%	1.3%	0.2%	*

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値及び京都市の結果と一致しないことがある。

表 2.4-18 携帯電話の被害（市区町村）

行政区分		停波基地局率											
		冬5時				夏12時				冬18時			
		発災直後	1日後	4日後	7日後	発災直後	1日後	4日後	7日後	発災直後	1日後	4日後	7日後
		%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
京都市	北区	15.3%	10.6%	2.8%	0.5%	16.1%	11.0%	2.9%	0.5%	22.3%	14.5%	3.8%	0.7%
	上京区	23.1%	17.0%	4.7%	0.9%	24.4%	17.8%	5.0%	0.9%	29.1%	21.1%	5.9%	1.1%
	左京区	18.3%	14.7%	4.5%	0.9%	19.3%	15.4%	4.7%	0.9%	23.2%	18.0%	5.5%	1.1%
	中京区	20.2%	14.7%	4.0%	0.7%	21.2%	15.2%	4.1%	0.8%	25.5%	17.9%	4.8%	0.9%
	東山区	25.3%	20.5%	6.4%	1.3%	26.4%	21.4%	6.7%	1.3%	30.5%	24.5%	7.7%	1.5%
	山科区	10.0%	6.1%	1.4%	0.2%	11.6%	6.9%	1.5%	0.2%	18.5%	10.5%	2.3%	0.4%
	下京区	18.8%	13.6%	3.7%	0.7%	20.0%	14.3%	3.9%	0.7%	22.3%	15.8%	4.3%	0.8%
	南区	10.8%	7.1%	1.7%	0.3%	11.8%	7.7%	1.9%	0.3%	14.7%	9.5%	2.3%	0.4%
	右京区	6.2%	1.8%	0.2%	0.0%	7.1%	2.1%	0.2%	0.0%	13.6%	3.8%	0.4%	0.0%
	西京区	6.9%	3.2%	0.5%	0.1%	7.3%	3.4%	0.6%	0.1%	13.7%	6.0%	1.0%	0.1%
伏見区	12.5%	8.8%	2.3%	0.4%	13.6%	9.5%	2.5%	0.5%	18.2%	12.5%	3.3%	0.6%	
	集計	14.1%	9.7%	2.6%	0.5%	15.1%	10.3%	2.8%	0.5%	20.0%	13.0%	3.4%	0.6%
山城広域振興局	宇治市	2.2%	0.6%	0.1%	0.0%	2.3%	0.6%	0.1%	0.0%	5.0%	1.4%	0.1%	0.0%
	城陽市	1.8%	0.5%	0.0%	0.0%	1.8%	0.5%	0.0%	0.0%	3.2%	0.9%	0.1%	0.0%
	向日市	5.5%	3.0%	0.5%	0.0%	6.4%	3.5%	0.6%	0.1%	14.7%	8.4%	1.4%	0.2%
	長岡京市	3.1%	1.6%	0.2%	0.0%	3.4%	1.8%	0.3%	0.0%	7.4%	3.9%	0.6%	0.1%
	八幡市	2.2%	0.6%	0.1%	0.0%	2.4%	0.7%	0.1%	0.0%	3.4%	1.0%	0.1%	0.0%
	京田辺市	0.8%	0.2%	0.0%	0.0%	0.8%	0.2%	0.0%	0.0%	0.8%	0.2%	0.0%	0.0%
	木津川市	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
	大山崎町	1.7%	0.8%	0.1%	0.0%	1.8%	0.9%	0.1%	0.0%	3.5%	1.8%	0.2%	0.0%
	久御山町	4.6%	2.5%	0.4%	0.0%	4.9%	2.6%	0.4%	0.1%	6.3%	3.5%	0.6%	0.1%
	井手町	0.7%	0.2%	0.0%	0.0%	0.7%	0.2%	0.0%	0.0%	0.7%	0.2%	0.0%	0.0%
	宇治田原町	0.6%	0.1%	0.0%	0.0%	0.6%	0.1%	0.0%	0.0%	0.6%	0.1%	0.0%	0.0%
	笠置町	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%
	和束町	0.3%	0.1%	0.0%	0.0%	0.3%	0.1%	0.0%	0.0%	0.3%	0.1%	0.0%	0.0%
	精華町	0.3%	0.1%	0.0%	0.0%	0.3%	0.1%	0.0%	0.0%	0.3%	0.1%	0.0%	0.0%
南山城村	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	
	集計	2.3%	0.9%	0.1%	0.0%	2.5%	1.0%	0.1%	0.0%	5.0%	2.2%	0.3%	0.0%
南丹広域振興局	亀岡市	0.7%	0.2%	0.0%	0.0%	0.7%	0.2%	0.0%	0.0%	0.7%	0.2%	0.0%	0.0%
	南丹市	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
	京丹波町	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	集計	0.4%	0.1%	0.0%	0.0%	0.4%	0.1%	0.0%	0.0%	0.4%	0.1%	0.0%	0.0%
中丹広域振興局	福知山市	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	舞鶴市	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	綾部市	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	集計	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
丹後広域振興局	宮津市	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	京丹後市	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	伊根町	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	与謝野町	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	集計	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	総計	1.4%	0.6%	0.1%	0.0%	1.5%	0.6%	0.1%	0.0%	3.0%	1.3%	0.2%	0.0%

(2) 特徴

- ・携帯電話の被害は、冬 18 時が最大となり、発災直後の停波基地局率が 3%、1 日後が 1.3%、4 日後が 0.2%、7 日後が若干数である。府全域の復旧見込みは概ね 1 週間後となる。この要因は、通信被害は火災による延焼と停電の影響を受けるためである。
- ・携帯電話の不通ランクは全ての市区町村において、A（非常につながりにくい）～C（ややつながりにくい）に該当しなかった。
- ・京都市では、冬 18 時が最大で発災直後の停波基地局率が 20%である。これは、固定電話の不通回線数と停電件数が最も大きいためである。概ね 1 週間で復旧する見込みである。
- ・山城広域振興局でも、冬 18 時が最大で発災直後の停波基地局率が 5%であり、概ね 1 週間で復旧する見込みである。
- ・南丹広域振興局と中丹広域振興局、丹後広域振興局では、基地局の停波は想定されない。

2.4.6 都市ガスの被害

(1) 想定結果

- ・都市ガスの被害として、供給停止戸数と供給停止率を算定した。
- ・結果は以下のとおりである。

表 2.4-19 都市ガスの被害

ガス会社	供給地域	供給戸数	供給停止	供給停止率
		(戸)	(戸)	%
大阪ガスネットワーク	京都市、宇治市、亀岡市、城陽市、長岡京市、井手町、宇治田原町、京田辺市、木津川市、精華町	1,086,000	707,000	65.1%
丹後ガス	舞鶴市	2,000	0	0.0%
長田野ガスセンター	福知山市	800	0	0.0%
福知山都市ガス	福知山市	5,200	0	0.0%

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値及び京都市の結果と一致しないことがある。

(2) 特徴

- ・都市ガスの被害は、地震動予測解析から得られる SI 値と供給事業者が定める供給停止基準（60 カインから 90 カイン）を比較して供給停止を判断する。
- ・大阪ガスネットワークの供給地域（京都市、山城振興局、南丹振興局）で、供給停止戸数が 71 万戸、供給停止率が 65.1%である。この要因は、地震の揺れで供給停止基準値以上(60 カインから 90 カイン以上)が想定されたためである。
- ・中丹振興局で供給されている都市ガスでは供給停止は発生しない。

2.4.7 前回調査との比較

- ・上水道被害及び下水道被害、電力被害、通信被害、都市ガス被害とも、府全域で前回調査より減少している。これは、ライフライン及び建物の耐震化の進展、近年の地震被害を考慮した最新の内閣府の手法によるものにより被害が減少したためである。

表 2.4-20 ライフライン被害の前回調査との比較

	行政区分	ライフライン										
		上水道				下水道			電力	通信	ガス	
		施設延長 km	被害箇所 件	被害率 件/km	断水率 %	施設延長 km	被害延長 km	被害箇所 件	停電 軒数	不通 軒数	支障 世帯数	
今回調査	京都市	4,300	1,120	0.26	62.9%	4,230	320		67,000	軒	82,000	
	山城広域振興局	3,400	500	0.16	51.9%	2,800	100		5,300	軒	8,400	
	南丹広域振興局	1,700	90	0.05	19.7%	1,100	40		100	軒	200	
	中丹広域振興局	2,200	20	0.01	1.0%	1,500	10		0	軒	0	
	丹後広域振興局	1,500	*	0.00	0.4%	700	*		0	軒	0	
	計	13,100	1,730	0.14	51.0%	10,330	470		72,400		90,600	707,000
前回調査	京都市	2,500	400	0.20	75.0%	5,000	-	5,900	147,000	戸	76,000	688,000
	山城広域振興局	2,900	1,600	0.54	-	1,600	-	3,400	233,000	世帯	22,000	149,000
	南丹広域振興局	1,300	200	0.14	-	600	-	500	42,000	世帯	700	21,000
	中丹広域振興局	1,800	20	0.01	-	900	-	40	6,000	世帯	0	1,800
	丹後広域振興局	900	*	0.00	-	300	-	0	1,700	世帯	0	500
	計	9,400	2,220	0.26	-	8,400	-	9,840	429,700		98,700	860,000

増加 減少 前回調査無し

前回調査の京都市の上水道の被害箇所、被害率は支線のみで、幹線は含まない
 前回調査の京都市の下水道の被害箇所は支線のみで、幹線は含まない

①上水道

- ・京都市では、被害箇所数は増加しているが、今回調査の内閣府の手法と前回調査の手法が大きく異なるため、単純な比較は困難である。断水率は、前回調査に比べ 12%程度減少している。この要因としては、管路の耐震化の進展と近年の地震被害を考慮した内閣府の手法が考えられる。
- ・京都市以外では、上水道の被害箇所数は山城広域振興局では 7 割、南丹広域振興局では 5 割程度減少、中丹広域振興局及び丹後広域振興局では被害箇所数はほぼ同じである。この要因としては、京都市同様、管路の耐震化の進展と近年の地震被害を考慮した内閣府の手法が考えられる。

②下水道

- ・近年の地震被害を考慮した内閣府の手法の採用により、前回調査から評価項目が変更（被害箇所→被害延長）されたため、単純な比較が困難である。

③電力

- ・京都市では、停電軒数が 5 割程度減少している。この要因としては、電柱や建物の耐震化の進展によるものと近年の地震被害を考慮した最新の内閣府の手法によるものが考えられる。
- ・京都市以外でも、停電軒数が大幅に減少している。この要因としては、京都市同様、電柱や建物の耐震化の進展によるものと近年の地震被害を考慮した最新の内閣府の手法によるものが考えられる。

④通信（固定電話）

- ・京都市では、固定電話等の回線不通軒数が 1 割程度増加している。この要因としては、火災によ

る焼失棟数が増加したためである。

- ・山城広域振興局及び南丹広域振興局では7割程度減少している。この要因としては、建物の耐震化の進展と近年の地震被害を考慮した最新の内閣府の手法によるものと考えられる。
- ・中丹広域振興局及び丹後広域振興局では、前回調査、今回調査ともに停電しない想定である。

⑤都市ガス

- ・京都府全域で2割程度減少している。この要因としては、供給停止基準や地震ブロックの最適化及び耐震性の高いガス管への入れ替え等による耐震化率の向上、供給事業者が定める供給停止基準を用いたより精度が高い手法の採用である。

2.5 交通施設被害

2.5.1 道路橋の被害

(1) 想定結果

- ・道路橋の被害としては、道路橋の耐震化を考慮した上で、大被害（機能支障あり）箇所数と中・小被害（機能支障無し）箇所数を算定した。
- ・「新耐震に準拠」の条件を以下に示す。
 - ・平成8年以降の道路橋示方書で設計された橋梁
 - ・耐震補強実施済みの橋梁
 - ・「橋長15m未滿かつ単径間の橋梁」又は「橋種がBOX橋」
- ・結果は以下のとおりである。

表 2.5-1 道路橋の被害（広域振興局）

行政区分	道路橋					
	橋梁数	震度6強以上の橋梁数	新耐震に準拠	旧耐震に準拠	大被害箇所数	中・小被害箇所数
京都市	2,900	1,400	1,200	200	20	300
山城広域振興局	3,100	1,000	800	200	20	200
南丹広域振興局	2,200	*	*	*	0	*
中丹広域振興局	3,200	0	0	0	0	0
丹後広域振興局	1,700	0	0	0	0	0
計	13,100	2,400	2,000	400	40	500

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値及び京都市の結果と一致しないことがある。

表 2.5-2 道路橋の被害（広域振興局）

		橋梁数	6強以上メッシュ内橋梁数	新耐震に準拠	旧耐震に準拠	大被害箇所数	中・小被害箇所数
京都市	北区	228	46	36	10	1	9
	上京区	29	29	28	1	0	5
	左京区	555	232	208	24	2	42
	中京区	55	55	55	0	0	9
	東山区	49	48	23	25	2	12
	山科区	185	140	120	20	2	26
	下京区	40	37	34	3	0	7
	南区	152	139	116	23	2	27
	右京区	669	26	19	7	1	5
	西京区	458	196	159	37	3	38
伏見区	523	498	422	76	6	95	
	集計	2,943	1,446	1,220	226	19	275
山城広域振興局	宇治市	414	184	105	79	6	44
	城陽市	211	106	96	10	1	19
	向日市	116	115	85	30	2	24
	長岡京市	188	140	123	17	1	26
	八幡市	252	166	153	13	1	29
	京田辺市	320	25	12	13	1	6
	木津川市	475	0	0	0	0	0
	大山崎町	90	44	32	12	1	9
	久御山町	221	202	161	41	3	40
	井手町	114	0	0	0	0	0
	宇治田原町	215	1	0	1	0	0
	笠置町	43	0	0	0	0	0
	和束町	213	0	0	0	0	0
	精華町	170	0	0	0	0	0
	南山城村	94	0	0	0	0	0
	集計	3,136	983	767	216	18	198
南丹広域振興局	亀岡市	657	3	2	1	0	1
	南丹市	989	0	0	0	0	0
	京丹波町	574	0	0	0	0	0
		集計	2,220	3	2	1	0
中丹広域振興局	福知山市	1,450	0	0	0	0	0
	舞鶴市	1,029	0	0	0	0	0
	綾部市	707	0	0	0	0	0
	集計	3,186	0	0	0	0	0
丹後広域振興局	宮津市	259	0	0	0	0	0
	京丹後市	1,180	0	0	0	0	0
	伊根町	68	0	0	0	0	0
	与謝野町	224	0	0	0	0	0
	集計	1,731	0	0	0	0	0
総計		13,216	2,432	1,989	443	36	474

(2) 特徴

- ・道路橋の被害として、大被害箇所数 40 橋、中・小被害箇所数 500 橋である。震度 6 強以上の揺れが想定される地域に 2,400 橋あること、このうち旧耐震基準の道路橋が 400 橋程度存在することが挙げられる。
- ・大被害箇所及び中・小被害箇所ともに、地震の揺れが大きい震源に近い京都市が最大となり、次に震源に近い山城広域振興局で多く発生する。
- ・今回、道路被害の復旧に関する想定は実施していないが、東北地方太平洋沖地震では、高速道路が発災から 21 日後に応急復旧し、直轄国道は約 1 ヶ月後に応急復旧が概成している。

2.5.2 鉄道の被害

(1) 想定結果

- ・鉄道の被害としては、新幹線とその他鉄道の被害箇所数を算定した。
- ・結果は以下のとおりである。

表 2.5-3 鉄道の被害（広域振興局）

行政区分	鉄道			
	新幹線		その他	
	延長(m)	被害箇所数	延長(m)	被害箇所数
京都市	15,000	*	152,000	400
山城広域振興局	8,000	*	116,000	200
南丹広域振興局	0	0	55,000	60
中丹広域振興局	0	0	119,000	30
丹後広域振興局	0	0	73,000	*
計	23,000	*	515,000	700

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値及び京都市の結果と一致しないことがある。

表 2.5-4 鉄道の被害（市区町村）

行政区分		鉄道			
		新幹線		その他	
		延長(m)	被害箇所数	延長(m)	被害箇所数
京都市	北区	0	0	2,176	6
	上京区	0	0	2,224	6
	左京区	0	0	21,979	53
	中京区	0	0	12,858	36
	東山区	1,987	1	11,064	30
	山科区	5,940	2	16,092	42
	下京区	1,021	0	12,113	34
	南区	5,457	2	6,992	19
	右京区	0	0	21,447	34
	西京区	756	0	11,905	20
伏見区	167	0	32,990	92	
	集計	15,327	6	151,839	373
山城広域振興局	宇治市	0	0	19,490	45
	城陽市	0	0	10,033	22
	向日市	2,360	1	6,236	17
	長岡京市	2,500	1	5,526	15
	八幡市	0	0	3,969	8
	京田辺市	0	0	14,814	30
	木津川市	0	0	26,704	43
	大山崎町	3,158	1	4,821	11
	久御山町	0	0	17	0
	井手町	0	0	3,569	7
	宇治田原町	0	0	0	0
	等置町	0	0	6,398	3
	和束町	0	0	0	0
	精華町	0	0	8,737	17
南山城村	0	0	5,630	6	
	集計	8,018	3	115,943	225
南丹広域振興局	亀岡市	0	0	16,770	27
	南丹市	0	0	21,459	23
	京丹波町	0	0	16,820	13
	集計	0	0	55,049	64
中丹広域振興局	福知山市	0	0	54,774	7
	舞鶴市	0	0	36,372	13
	綾部市	0	0	28,251	11
	集計	0	0	119,396	32
丹後広域振興局	宮津市	0	0	30,450	3
	京丹後市	0	0	38,202	0
	伊根町	0	0	0	0
	与謝野町	0	0	4,213	1
	集計	0	0	72,865	4
総計		23,345	9	515,092	698

(2) 特徴

- ・鉄道の被害箇所数は、新幹線で若干数、その他鉄道で700箇所である。この要因として、大きな揺れが想定される京都市域に路線が集中していることが挙げられる。また、内閣府の手法では、新幹線は震度5強以上の揺れにより被害が発生するのに対し、その他鉄道は震度5弱の揺れで被害が発生するため、広い範囲で被害箇所数が発生していると考えられる。

- ・最も大きな揺れが想定される京都市では、新幹線で数箇所、その他鉄道で 400 箇所程度の被害が想定されている。
 - ・次いで大きな揺れが想定される山城広域振興局では、新幹線で数箇所、その他鉄道で 200 箇所程度の被害が想定されている。
 - ・南丹広域振興局では、その他鉄道で 60 箇所程度の被害が想定されている。
 - ・中丹広域振興局では、その他鉄道で 30 箇所程度の被害が想定されている。
 - ・丹後広域振興局では、その他鉄道で数箇所の被害が想定されている。
-
- ・今回、鉄道被害の復旧に関する想定は実施していないが、東北地方太平洋沖地震では東北新幹線が発災から 45 日後に運転再開し、早期復旧が難しい鉄道路線は鉄道代替バスを運行した。

2.6 生活への影響

2.6.1 避難者数

(1) 想定結果

- ・避難者としては、全避難者数・避難所内避難者数（直後、1週間後、1ヶ月後）と災害時要援護者（要配慮者）を算定した。
- ・結果は以下のとおりである。

表 2.6-1 避難者数（冬5時）（広域振興局）

行政区分	人口	避難者(冬5時)						
		全避難者			避難所内避難者			災害時 要援護者 (要配慮者)
		発災直後	1週間後	1ヶ月後	発災直後	1週間後	1ヶ月後	
		人	人	人	人	人	人	人
京都市	1,464,000	174,000	247,000	174,000	139,000	124,000	52,000	39,000
山城広域振興局	705,000	27,000	58,000	31,000	21,000	29,000	9,200	5,500
南丹広域振興局	131,000	1,800	3,600	1,900	1,400	1,800	600	300
中丹広域振興局	189,000	20	200	20	20	100	*	*
丹後広域振興局	90,000	0	20	0	0	*	0	0
計	2,579,000	202,820	308,820	206,920	161,420	154,900	61,800	44,800

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値及び京都市の結果と一致しないことがある。

表 2.6-2 避難者数（夏12時）（広域振興局）

行政区分	人口	避難者(夏12時)						
		全避難者			避難所内避難者			災害時 要援護者 (要配慮者)
		発災直後	1週間後	1ヶ月後	発災直後	1週間後	1ヶ月後	
		人	人	人	人	人	人	人
京都市	1,464,000	179,000	253,000	179,000	143,000	126,000	54,000	41,000
山城広域振興局	705,000	27,000	59,000	31,000	22,000	29,000	9,300	5,600
南丹広域振興局	131,000	1,800	3,600	1,900	1,400	1,800	600	300
中丹広域振興局	189,000	20	200	20	20	100	*	*
丹後広域振興局	90,000	0	20	0	0	*	0	0
計	2,579,000	207,820	315,820	211,920	166,420	156,900	63,900	46,900

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値及び京都市の結果と一致しないことがある。

表 2.6-3 避難者数（冬18時）（広域振興局）

行政区分	人口	避難者(冬18時)						
		全避難者			避難所内避難者			災害時 要援護者 (要配慮者)
		発災直後	1週間後	1ヶ月後	発災直後	1週間後	1ヶ月後	
		人	人	人	人	人	人	人
京都市	1,464,000	206,000	278,000	206,000	165,000	139,000	62,000	47,000
山城広域振興局	705,000	32,000	64,000	36,000	26,000	32,000	11,000	6,700
南丹広域振興局	131,000	1,800	3,600	1,900	1,400	1,800	600	300
中丹広域振興局	189,000	20	200	20	20	100	*	*
丹後広域振興局	90,000	0	20	0	0	*	0	0
計	2,579,000	239,820	345,820	243,920	192,420	172,900	73,600	54,000

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値及び京都市の結果と一致しないことがある。

表 2.6-4 避難者数 (冬5時) (市区町村)

行政区分		人口	避難者(冬5時)							
			全避難者				避難所内避難者			災害時 要援護者 (要配慮者)
			発災直後	1週間後	1ヶ月後	発災直後	1週間後	1ヶ月後		
			人	人	人	人	人	人	人	
京都市	北区	117,165	12,897	18,821	12,897	10,318	9,410	3,869	2,763	
	上京区	83,832	13,648	17,960	13,648	10,918	8,980	4,094	3,175	
	左京区	166,039	25,693	33,315	25,693	20,555	16,657	7,708	5,848	
	中京区	110,488	18,086	23,425	18,086	14,468	11,713	5,426	3,985	
	東山区	36,602	7,792	9,470	7,792	6,234	4,735	2,338	1,836	
	山科区	135,101	13,005	20,043	13,005	10,404	10,021	3,902	2,848	
	下京区	82,784	12,780	16,733	12,780	10,224	8,367	3,834	2,836	
	南区	101,970	13,932	19,297	13,932	11,145	9,648	4,179	3,505	
	右京区	202,047	7,878	18,701	7,878	6,302	9,350	2,363	1,746	
	西京区	149,837	7,168	15,286	7,168	5,734	7,643	2,150	1,497	
伏見区	277,858	40,850	54,426	40,850	32,680	27,213	12,255	9,320		
	集計	1,463,723	173,728	247,476	173,728	138,982	123,738	52,118	39,358	
山城広域 振興局	宇治市	179,630	7,838	16,685	8,918	6,270	8,342	2,675	1,613	
	城陽市	74,607	3,253	7,621	3,780	2,602	3,811	1,134	652	
	向日市	56,859	5,439	9,240	6,148	4,351	4,620	1,844	1,142	
	長岡京市	80,608	4,841	8,521	5,298	3,873	4,260	1,589	993	
	八幡市	70,433	1,786	4,826	2,143	1,429	2,413	643	387	
	京田辺市	73,753	920	3,959	1,255	736	1,980	377	181	
	木津川市	77,907	209	1,489	297	167	744	89	41	
	大山崎町	15,953	534	1,527	655	427	763	196	114	
	久御山町	15,250	1,309	3,007	1,583	1,047	1,504	475	288	
	井手町	7,406	138	370	164	111	185	49	30	
	宇治田原町	8,911	119	304	135	95	152	41	25	
	笠置町	1,144	5	13	5	4	6	2	1	
	和束町	3,478	15	35	16	12	17	5	3	
	精華町	36,198	196	644	236	156	322	71	36	
	南山城村	2,391	2	9	3	2	4	1	0	
	集計	704,528	26,604	58,249	30,635	21,283	29,124	9,191	5,507	
南丹広域 振興局	亀岡市	86,174	1,578	3,029	1,722	1,262	1,515	516	309	
	南丹市	31,629	172	519	194	138	260	58	34	
	京丹波町	12,907	4	31	4	3	16	1	1	
	集計	130,710	1,754	3,580	1,920	1,403	1,790	576	344	
中丹広域 振興局	福知山市	77,306	0	63	0	0	32	0	0	
	舞鶴市	80,336	21	100	21	17	50	6	4	
	綾部市	31,846	1	29	1	0	14	0	0	
	集計	189,488	21	192	21	17	96	6	5	
丹後広域 振興局	宮津市	16,758	0	16	0	0	8	0	0	
	京丹後市	50,860	0	0	0	0	0	0	0	
	伊根町	1,928	0	0	0	0	0	0	0	
	与謝野町	20,092	0	0	0	0	0	0	0	
	集計	89,638	0	16	0	0	8	0	0	
	総計	2,578,087	202,108	309,513	206,304	161,686	154,756	61,891	45,214	

表 2.6-5 避難者数 (夏 12 時) (市区町村)

行政区分	人口	避難者(夏12時)							
		全避難者			避難所内避難者			災害時 要援護者 (要配慮者)	
		発災直後	1週間後	1ヶ月後	発災直後	1週間後	1ヶ月後		
		人	人	人	人	人	人	人	
京都市	北区	117,165	13,293	19,193	13,293	10,634	9,597	3,988	2,848
	上京区	83,832	13,894	18,192	13,894	11,115	9,096	4,168	3,232
	左京区	166,039	26,195	33,788	26,195	20,956	16,894	7,859	5,962
	中京区	110,488	18,330	23,656	18,330	14,664	11,828	5,499	4,039
	東山区	36,602	7,912	9,583	7,912	6,330	4,792	2,374	1,864
	山科区	135,101	13,572	20,577	13,572	10,858	10,289	4,072	2,972
	下京区	82,784	13,026	16,965	13,026	10,421	8,482	3,908	2,891
	南区	101,970	14,218	19,566	14,218	11,374	9,783	4,265	3,577
	右京区	202,047	8,818	19,587	8,818	7,055	9,793	2,645	1,954
	西京区	149,837	7,643	15,734	7,643	6,114	7,867	2,293	1,596
	伏見区	277,858	42,254	55,749	42,254	33,804	27,875	12,676	9,641
	集計	1,463,723	179,157	252,591	179,157	143,325	126,295	53,747	40,576
山城広域 振興局	宇治市	179,630	7,870	16,718	8,950	6,296	8,359	2,685	1,620
	城陽市	74,607	3,253	7,622	3,780	2,602	3,811	1,134	652
	向日市	56,859	5,597	9,401	6,306	4,478	4,701	1,892	1,175
	長岡京市	80,608	4,915	8,596	5,371	3,932	4,298	1,611	1,008
	八幡市	70,433	1,814	4,854	2,171	1,451	2,427	651	393
	京田辺市	73,753	920	3,960	1,255	736	1,980	377	181
	木津川市	77,907	209	1,489	297	167	744	89	41
	大山崎町	15,953	542	1,535	663	434	768	199	116
	久御山町	15,250	1,330	3,030	1,605	1,064	1,515	481	293
	井手町	7,406	138	370	164	111	185	49	30
	宇治田原町	8,911	119	304	135	95	152	41	25
	笠置町	1,144	5	13	5	4	6	2	1
	和束町	3,478	15	35	16	12	17	5	3
	精華町	36,198	196	644	236	156	322	71	36
	南山城村	2,391	2	9	3	2	4	1	0
	集計	704,528	26,926	58,578	30,957	21,541	29,289	9,287	5,575
南丹広域 振興局	亀岡市	86,174	1,578	3,029	1,722	1,262	1,515	516	309
	南丹市	31,629	172	519	194	138	260	58	34
	京丹波町	12,907	4	31	4	3	16	1	1
		集計	130,710	1,754	3,580	1,920	1,403	1,790	576
中丹広域 振興局	福知山市	77,306	0	63	0	0	32	0	0
	舞鶴市	80,336	21	100	21	17	50	6	4
	綾部市	31,846	1	29	1	0	14	0	0
	集計	189,488	21	192	21	17	96	6	5
丹後広域 振興局	宮津市	16,758	0	16	0	0	8	0	0
	京丹後市	50,860	0	0	0	0	0	0	0
	伊根町	1,928	0	0	0	0	0	0	0
	与謝野町	20,092	0	0	0	0	0	0	0
	集計	89,638	0	16	0	0	8	0	0
	総計	2,578,087	207,858	314,958	212,055	166,287	157,479	63,616	46,499

表 2.6-6 避難者数（冬 18 時）（市区町村）

行政区分	人口	避難者(冬18時)							
		全避難者			避難所内避難者			災害時 要援護者 (要配慮者)	
		発災直後	1週間後	1ヶ月後	発災直後	1週間後	1ヶ月後		
		人	人	人	人	人	人	人	
京都市	北区	117,165	16,239	21,969	16,239	12,991	10,985	4,872	3,479
	上京区	83,832	15,180	19,403	15,180	12,144	9,702	4,554	3,531
	左京区	166,039	28,702	36,149	28,702	22,961	18,075	8,610	6,532
	中京区	110,488	20,496	25,697	20,496	16,397	12,848	6,149	4,516
	東山区	36,602	8,361	10,006	8,361	6,688	5,003	2,508	1,970
	山科区	135,101	16,256	23,106	16,256	13,005	11,553	4,877	3,559
	下京区	82,784	14,196	18,067	14,196	11,357	9,033	4,259	3,150
	南区	101,970	15,770	21,029	15,770	12,616	10,514	4,731	3,968
	右京区	202,047	13,511	24,008	13,511	10,809	12,004	4,053	2,994
	西京区	149,837	10,061	18,012	10,061	8,048	9,006	3,018	2,101
伏見区	277,858	47,413	60,610	47,413	37,930	30,305	14,224	10,818	
	集計	1,463,723	206,183	278,056	206,183	164,946	139,028	61,855	46,619
山城広域 振興局	宇治市	179,630	9,562	18,411	10,641	7,649	9,205	3,192	1,968
	城陽市	74,607	3,621	7,990	4,148	2,897	3,995	1,244	726
	向日市	56,859	7,232	11,041	7,941	5,786	5,521	2,382	1,518
	長岡京市	80,608	6,078	9,761	6,534	4,862	4,880	1,960	1,247
	八幡市	70,433	2,032	5,072	2,389	1,625	2,536	717	440
	京田辺市	73,753	921	3,960	1,256	736	1,980	377	181
	木津川市	77,907	209	1,489	297	167	744	89	41
	大山崎町	15,953	631	1,623	751	505	812	225	134
	久御山町	15,250	1,444	3,143	1,718	1,155	1,572	515	318
	井手町	7,406	139	371	164	111	185	49	30
	宇治田原町	8,911	119	304	135	95	152	41	25
	笠置町	1,144	5	13	5	4	6	2	1
	和束町	3,478	15	35	16	12	17	5	3
	精華町	36,198	196	644	236	156	322	71	36
	南山城村	2,391	2	9	3	2	4	1	0
	集計	704,528	32,204	63,865	36,235	25,763	31,933	10,870	6,669
南丹広域 振興局	亀岡市	86,174	1,578	3,029	1,722	1,262	1,515	516	309
	南丹市	31,629	172	519	194	138	260	58	34
	京丹波町	12,907	4	31	4	3	16	1	1
	集計	130,710	1,754	3,580	1,920	1,403	1,790	576	344
中丹広域 振興局	福知山市	77,306	0	63	0	0	32	0	0
	舞鶴市	80,336	21	100	21	17	50	6	4
	綾部市	31,846	1	29	1	0	14	0	0
	集計	189,488	21	192	21	17	96	6	5
丹後広域 振興局	宮津市	16,758	0	16	0	0	8	0	0
	京丹後市	50,860	0	0	0	0	0	0	0
	伊根町	1,928	0	0	0	0	0	0	0
	与謝野町	20,092	0	0	0	0	0	0	0
	集計	89,638	0	16	0	0	8	0	0
	総計	2,578,087	240,162	345,710	244,359	192,130	172,855	73,308	53,637

(2) 特徴

- ・避難者数としては、全避難者及び避難者所内避難者、災害時要援護者とも、冬 18 時が最大で、発災直後で全避難者が 24 万人、避難者所内避難者が 19 万人となり、1 週間後で全避難者が 35 万人、避難者所内避難者数が 17 万人、1 ヶ月後で全避難者が 24 万人、避難者所内避難者が 7.4 万人であり、災害時要援護者が 5.4 万人である。
- ・発災直後の全避難者は、液状化、揺れ、急傾斜地崩壊及び火災により建物被害を受けた避難者である。また、1 週間後と 1 ヶ月後の避難者には、断水、停電による避難者を考慮している。
- ・1 週間後の全避難者が最も多い理由は、1 週間後の全避難者には建物被害を受けた住宅の居住者に断水、停電による避難者が加わったためである。
- ・避難所内避難者と避難所外避難者の割合は、近年の地震被害を考慮した最新の内閣府の手法により 80:20 としている。
- ・京都市では、冬 18 時が最大で、1 週間後の全避難数が最も多く 28 万人である。避難所内避難者数は発災直後で 17 万人、1 週間後で 14 万人、1 ヶ月後で 6.2 万人となり、災害時要援護者は 4.6 万人である。冬 18 時が最大の要因は、揺れや火災などの建物被害を受けた避難者が最も多いためである。
- ・山城広域振興局では、冬 18 時が最大で、1 週間後の全避難数が最も多く 6.4 万人である。避難所内避難者数は発災直後で 2.6 万人、1 週間後で 3.2 万人、1 ヶ月後で 1.1 万人となり、災害時要援護者は 6.7 千人である。避難所内避難者数が 1 週間後で最も多くなる要因は、断水、停電による避難者が割合として多いためである。
- ・南丹広域振興局では、1 週間後の全避難数が 3.6 千人であり、1 週間後の避難所内避難者数が 1.8 千人、災害時要援護者が 300 人である。
- ・中丹広域振興局では、1 週間後の全避難数が 190 人であり、1 週間後の避難所内避難者数が 100 人、災害時要援護者が若干名である。
- ・丹後広域振興局では、1 週間後の全避難数が 16 人であり、1 週間後の避難所内避難者数が若干名である。

2.6.2 帰宅困難者

(1) 想定結果

- ・帰宅困難者は、内閣府の方法に倣い、震度 5 強以上が分布する市町村では徒歩・自転車以外での帰宅は難しくなるという条件で算定した。
- ・外国人宿泊者は、令和元年の京都府観光入込客等調査報告書より集計した。
- ・結果は以下のとおりである。

表 2.6-7 帰宅困難者（広域振興局）

行政区分	帰宅 困難者	外国人 宿泊者
	人	人
京都市	209,000	10,000
山城広域振興局	66,000	20
南丹広域振興局	16,000	30
中丹広域振興局	16,000	30
丹後広域振興局	2,900	200
計	309,900	10,280

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値及び京都市の結果と一致しないことがある。

表 2.6-8 帰宅困難者（市区町村）

行政区分		帰宅 困難者	外国人 宿泊者
		人	人
京都市	北区	12,412	
	上京区	21,876	
	左京区	21,906	
	中京区	23,727	
	東山区	8,796	
	山科区	9,121	
	下京区	36,632	
	南区	24,024	
	右京区	14,999	
	西京区	6,399	
	伏見区	28,890	
	集計	208,782	10,408
山城広域 振興局	宇治市	12,330	10
	城陽市	4,484	0
	向日市	3,559	0
	長岡京市	8,194	2
	八幡市	7,038	0
	京田辺市	10,389	0
	木津川市	5,097	0
	大山崎町	2,025	0
	久御山町	5,538	0
	井手町	625	0
	宇治田原町	1,298	0
	笠置町	342	1
	和束町	495	2
	精華町	3,746	6
	南山城村	678	0
	集計	65,837	22
南丹広域 振興局	亀岡市	7,626	19
	南丹市	6,188	12
	京丹波町	2,072	0
	集計	15,886	32
中丹広域 振興局	福知山市	7,545	6
	舞鶴市	4,323	25
	綾部市	4,142	3
	集計	16,010	33
丹後広域 振興局	宮津市	1,031	149
	京丹後市	1,323	14
	伊根町	220	16
	与謝野町	354	3
	集計	2,928	182
	総計	309,443	10,677

(2) 特徴

- ・帰宅困難者は 31 万人、外国人宿泊者は 1 万人である。
- ・帰宅困難者は、内閣府の手法に倣って、震度 5 強以上が分布する市町村から抽出しているため、府全域で発生する。
- ・京都市で最も多く 21 万人である。次に山城広域振興局で 6.6 万人である。
- ・南丹広域振興局、中丹広域振興局では 1.6 万人、丹後広域振興局では 3 千人である。

2.6.3 物資（備蓄品）

(1) 想定結果

- ・物資としては、食料、飲料水、毛布について、24 時間以内の必要量と不足量、周辺市町村からの応援量を算定した。
- ・結果は以下のとおりである。

表 2.6-9 物資（広域振興局）

行政区分	物資										
	食料			飲料水				毛布			
	備蓄量	24時間以内必要量	不足量	備蓄量	24時間以内必要量	不足量	応援量	備蓄量	24時間以内必要量	不足量	応援量
	食	食	食	リットル	リットル	リットル	リットル	枚	枚	枚	枚
京都府	280,000			140,000				140,000			
京都市	1,088,000	396,000	0	287,000	908,000	621,000		77,000	165,000	88,000	
山城広域振興局	386,000	62,000	0	151,000	368,000	223,000		68,000	26,000	3,600	
南丹広域振興局	40,000	3,400	0	20,000	25,000	10,000		12,000	1,400	0	
中丹広域振興局	41,000	40	0	16,000	1,900	0		18,000	20	0	
丹後広域振興局	60,000	0	0	28,000	300	0		12,000	0	0	
計	1,895,000	461,440	0	642,000	1,303,200	854,000	166,300	327,000	192,420	91,600	183,100
京都府全域の飲料水の不足量								京都府全域の毛布の不足量			
687,700								0			

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値及び京都市の結果と一致しないことがある。

表 2.6-10 物資（市区町村）

行政区分	物資											
	食料			飲料水				毛布				
	備蓄量	24時間以内必要量	不足量	備蓄量	24時間以内必要量	不足量	応援量	備蓄量	24時間以内必要量	不足量	応援量	
	食	食	食	リットル	リットル	リットル	リットル	枚	枚	枚	枚	
京都府	280,000			140,000				140,000			140,000	
集計	280,000			140,000			140,000	140,000			140,000	
京都市	1,088,378	395,871	0	287,195	908,000	620,805	0	76,711	164,946	88,235	0	
集計	1,088,378	395,871	0	287,195	908,000	620,805	0	76,711	164,946	88,235	0	
山城広域振興局	宇治市	25,000	18,358	0	0	102,806	102,806	0	13,400	7,649	0	2,875
	城陽市	22,482	6,952	0	11,040	49,248	38,208	0	11,590	2,897	0	4,347
	向日市	25,584	13,886	0	22,680	37,867	15,187	0	3,165	5,786	2,621	0
	長岡京市	84,826	11,669	0	42,806	42,311	0	247	3,880	4,862	982	0
	八幡市	28,916	3,901	0	18,060	37,146	19,086	0	5,124	1,625	0	1,749
	京田辺市	45,938	1,768	0	17,052	39,369	22,317	0	13,580	736	0	6,422
	木津川市	41,904	402	0	11,052	22,036	10,984	0	2,210	167	0	1,021
	大山崎町	14,918	1,211	0	10,017	11,052	1,035	0	2,201	505	0	848
	久御山町	9,120	2,772	0	3,504	13,697	10,193	0	3,421	1,155	0	1,133
	井手町	3,000	267	0	1,200	3,061	1,861	0	2,620	111	0	1,254
	宇治田原町	2,500	229	0	1,260	2,842	1,582	0	2,480	95	0	1,192
	笠置町	6,546	9	0	3,886	115	0	1,886	313	4	0	155
	和束町	3,272	28	0	840	259	0	290	786	12	0	387
	精華町	69,200	375	0	6,000	6,116	116	0	2,500	156	0	1,172
	南山城村	2,412	4	0	1,260	69	0	595	600	2	0	299
集計	385,618	61,832	0	150,657	367,994	223,374	3,019	67,870	25,763	3,603	22,855	
南丹広域振興局	亀岡市	15,750	3,029	0	10,272	19,517	9,245	0	9,500	1,262	0	4,119
	南丹市	16,464	330	0	4,798	5,626	828	0	428	138	0	145
	京丹波町	7,722	8	0	4,800	315	0	2,243	1,875	3	0	936
集計	39,936	3,368	0	19,870	25,457	10,073	2,243	11,803	1,403	0	5,200	
中丹広域振興局	福知山市	14,640	0	0	3,685	710	0	1,487	7,722	0	0	3,861
	舞鶴市	11,448	40	0	5,734	887	0	2,423	5,722	17	0	2,853
	綾部市	14,800	1	0	6,694	317	0	3,189	4,147	0	0	2,073
集計	40,888	41	0	16,113	1,914	0	7,099	17,591	17	0	8,787	
丹後広域振興局	宮津市	4,532	0	0	1,788	183	0	803	3,643	0	0	1,821
	京丹後市	43,700	0	0	22,116	43	0	11,036	4,848	0	0	2,424
	伊根町	2,449	0	0	1,122	0	0	561	1,050	0	0	525
	与謝野町	9,600	0	0	2,520	107	0	1,207	2,589	0	0	1,295
集計	60,281	0	0	27,546	333	0	13,606	12,130	0	0	6,065	
総計	1,895,101	461,112	0	641,381	1,303,699	854,252	165,967	326,105	192,130	91,839	182,907	

(2) 特徴

- ・ 備蓄量は、府・市町村の持つ備蓄量から食料を 190 万食、飲料水を 64 万リットル、毛布を 33 万枚と推計した。
- ・ 京都府では「公的備蓄等に係る基本的な考え方」として、食料は 1 人当たり 2 食、飲料水は 1 人当たり 1 リットル、毛布は 1 人当たり 1 枚を想定している。
- ・ 24 時間以内の必要量として、食料は避難所内避難者の 1.2 倍を対象者として 46 万食、飲料水は断水人口を対象者として 130 万リットル、毛布は避難所内避難者数より 19 万枚と推計した。
- ・ 不足量は、市町村ごとの 24 時間以内の必要量と備蓄量の差から算出し、食料は不足量なし、飲料水は 85 万リットル、毛布は 9.2 万枚となった。
- ・ 京都市では、飲料水が 62 万リットル、毛布が 8.8 万枚不足している。
- ・ 山城広域振興局では、飲料水が 22 万リットル、毛布が 0.4 万枚不足している。
- ・ 南丹広域振興局では、飲料水が 1 万リットル不足している。
- ・ 中丹広域振興局は、避難者や断水人口が少ないため、備蓄量は必要量を上回っている。
- ・ 丹後広域振興局は、避難者や断水人口が少ないため、備蓄量は必要量を上回っている。
- ・ 周辺市町村からの応援量は、内閣府の手法により京都府の備蓄量の全量と各市町村の供給余剰の半分とし、飲料水は 16.6 万リットル、毛布は 18.3 万枚と算出した。
- ・ 飲料水は、府全域の応援量が不足する市町村に行き渡っても、全体で 69 万リットル不足する。
- ・ 毛布は、府全域の応援量が不足する市町村に行き渡れば、不足は解消される。

(3) 内閣府（2013）の考え方

- ・ 内閣府（2013）の被害想定では、食料は 1 人当たり 3 食、飲料水は 1 人当たり 3 リットル、毛布は 1 人当たり 2 枚としている。
- ・ 24 時間以内の必要量として、食料は避難所内避難者の 1.2 倍を対象者として 69 万食、飲料水は断水人口を対象者として 390 万リットル、毛布は避難所内避難者数より 38 万枚と推計した。
- ・ 食料は山城広域振興局では、2500 食不足するが、府全域の応援量が不足する市町村に行き渡れば、不足は解消される。
- ・ 飲料水は京都府の備蓄量の考え方でも府全域で不足するため、不足量が大幅に増加する。
- ・ 毛布は京都市で 25 万枚、山城広域振興局で 1.6 万枚不足し、府全域の応援量が不足する市町村に行き渡っても、全体で 9.4 万枚不足する。

表 2.6-11 物資（広域振興局、内閣府（2013））

行政区分	物資											
	食料				飲料水				毛布			
	備蓄量	24時間以内必要量	不足量	応援量	備蓄量	24時間以内必要量	不足量	応援量	備蓄量	24時間以内必要量	不足量	応援量
食	食	食	食	リットル	リットル	リットル	リットル	枚	枚	枚	枚	
京都府	280,000				140,000				140,000			
京都市	1,088,000	594,000	0		287,000	2,724,000	2,437,000		77,000	330,000	253,000	
山城広域振興局	386,000	93,000	2,500		151,000	1,104,000	958,000		68,000	52,000	16,000	
南丹広域振興局	40,000	5,100	0		20,000	76,000	60,000		12,000	2,800	0	
中丹広域振興局	41,000	60	0		16,000	5,700	0		18,000	30	0	
丹後広域振興局	60,000	0	0		28,000	1,000	0		12,000	0	0	
計	1,895,000	692,160	2,500	462,000	642,000	3,910,700	3,455,000	162,400	327,000	384,830	269,000	175,400
	京都府全域の食料の不足量				京都府全域の飲料水の不足量				京都府全域の毛布の不足量			
	0				3,292,600				93,600			

表 2.6-12 物資（市区町村、内閣府（2013））

行政区分	物資												
	食料				飲料水				毛布				
	備蓄量	24時間以内 必要量	不足量	応援量	備蓄量	24時間以内 必要量	不足量	応援量	備蓄量	24時間以内 必要量	不足量	応援量	
食	食	食	食	リットル	リットル	リットル	リットル	枚	枚	枚	枚		
京都府	280,000			280,000	140,000			140,000	140,000			140,000	
集計	280,000			280,000	140,000			140,000	140,000			140,000	
京都市	1,088,378	593,807	0	247,285	287,195	2,724,000	2,436,805	0	76,711	329,893	253,182	0	
集計	1,088,378	593,807	0	247,285	287,195	2,724,000	2,436,805	0	76,711	329,893	253,182	0	
山城広域 振興局	宇治市	25,000	27,537	2,537	0	0	308,419	308,419	0	13,400	15,299	1,899	0
	城陽市	22,482	10,428	0	6,027	11,040	147,743	136,703	0	11,590	5,793	0	2,898
	向日市	25,584	20,830	0	2,377	22,680	113,600	90,920	0	3,165	11,572	8,407	0
	長岡京市	84,826	17,504	0	33,661	42,806	126,934	84,128	0	3,880	9,724	5,844	0
	八幡市	28,916	5,851	0	11,532	18,060	111,438	93,378	0	5,124	3,251	0	937
	京田辺市	45,938	2,651	0	21,643	17,052	118,106	101,054	0	13,580	1,473	0	6,054
	木津川市	41,904	603	0	20,651	11,052	66,107	55,055	0	2,210	335	0	938
	大山崎町	14,918	1,816	0	6,551	10,017	33,157	23,140	0	2,201	1,009	0	596
	久御山町	9,120	4,158	0	2,481	3,504	41,090	37,586	0	3,421	2,310	0	556
	井手町	3,000	400	0	1,300	1,200	9,184	7,984	0	2,620	222	0	1,199
	宇治田原町	2,500	343	0	1,078	1,260	8,526	7,266	0	2,480	191	0	1,145
	笠置町	6,546	14	0	3,266	3,886	345	0	1,771	313	8	0	153
	和束町	3,272	43	0	1,615	840	777	0	31	786	24	0	381
	精華町	69,200	563	0	34,318	6,000	18,347	12,347	0	2,500	313	0	1,094
	南山城村	2,412	7	0	1,203	1,260	207	0	526	600	4	0	298
集計	385,618	92,747	2,537	147,704	150,657	1,103,981	957,981	2,328	67,870	51,526	16,150	16,247	
南丹広域 振興局	亀岡市	15,750	4,544	0	5,603	10,272	58,551	48,279	0	9,500	2,524	0	3,488
	南丹市	16,464	495	0	7,984	4,798	16,877	12,079	0	428	275	0	76
	京丹波町	7,722	12	0	3,855	4,800	944	0	1,928	1,875	7	0	934
集計	39,936	5,052	0	17,442	19,870	76,372	60,359	1,928	11,803	2,806	0	4,498	
中丹広域 振興局	福知山市	14,640	0	0	7,320	3,685	2,130	0	777	7,722	0	0	3,861
	舞鶴市	11,448	60	0	5,694	5,734	2,662	0	1,536	5,722	33	0	2,844
	綾部市	14,800	2	0	7,399	6,694	950	0	2,872	4,147	1	0	2,073
集計	40,888	62	0	20,413	16,113	5,743	0	5,185	17,591	34	0	8,778	
丹後広域 振興局	宮津市	4,532	0	0	2,266	1,788	548	0	620	3,643	0	0	1,821
	京丹後市	43,700	0	0	21,850	22,116	129	0	10,993	4,848	0	0	2,424
	伊根町	2,449	0	0	1,225	1,122	1	0	560	1,050	0	0	525
	与謝野町	9,600	0	0	4,800	2,520	320	0	1,100	2,589	0	0	1,295
集計	60,281	0	0	30,140	27,546	999	0	13,273	12,130	0	0	6,065	
総計	1,895,101	691,668	2,537	742,985	641,381	3,911,096	3,455,144	162,715	326,105	384,260	269,332	175,588	

2.7 災害廃棄物

(1) 想定結果

- ・災害廃棄物としては、環境省「災害廃棄物対策指針（技術資料）」における災害廃棄物発生量の推計の考え方に準拠して災害廃棄物を算定した。
- ・結果は以下のとおりである。

表 2.7-1 災害廃棄物等（広域振興局）

行政区分	災害廃棄物		
	冬5時 トン	夏12時 トン	冬18時 トン
京都市	15,143,000	15,419,000	16,756,000
山城広域振興局	1,856,000	1,874,000	2,146,000
南丹広域振興局	227,000	227,000	227,000
中丹広域振興局	22,000	22,000	22,000
丹後広域振興局	2,900	2,900	2,900
計	17,250,900	17,544,900	19,153,900

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値及び京都市の結果と一致しないことがある。

表 2.7-2 災害廃棄物等（市区町村）

行政区分		災害廃棄物		
		冬5時	夏12時	冬18時
		トン	トン	トン
京都市	北区	1,557,391	1,585,050	1,734,614
	上京区	1,800,292	1,813,740	1,884,782
	左京区	2,463,956	2,486,744	2,617,306
	中京区	1,541,704	1,559,886	1,657,169
	東山区	1,256,436	1,264,422	1,296,882
	山科区	957,326	993,268	1,126,926
	下京区	1,129,642	1,141,340	1,196,590
	南区	955,487	971,278	1,048,526
	右京区	591,312	639,796	905,168
	西京区	541,341	561,321	673,773
	伏見区	2,347,739	2,401,862	2,614,264
	集計	15,142,625	15,418,707	16,755,999
山城広域 振興局	宇治市	484,745	486,466	570,609
	城陽市	255,271	255,271	276,871
	向日市	334,910	343,865	432,266
	長岡京市	259,152	262,628	316,354
	八幡市	181,938	183,787	196,989
	京田辺市	83,628	83,635	83,670
	木津川市	33,205	33,205	33,205
	大山崎町	30,888	31,286	35,283
	久御山町	121,934	123,226	129,874
	井手町	20,774	20,774	20,833
	宇治田原町	20,299	20,299	20,299
	笠置町	1,145	1,145	1,145
	和束町	1,926	1,926	1,926
	精華町	25,864	25,864	25,864
	南山城村	639	639	639
		集計	1,856,318	1,874,017
南丹広域 振興局	亀岡市	165,576	165,576	165,576
	南丹市	54,607	54,607	54,607
	京丹波町	6,959	6,959	6,959
	集計	227,142	227,142	227,142
中丹広域 振興局	福知山市	4,145	4,145	4,145
	舞鶴市	13,087	13,087	13,087
	綾部市	4,996	4,996	4,996
	集計	22,229	22,229	22,229
丹後広域 振興局	宮津市	1,892	1,892	1,892
	京丹後市	170	170	170
	伊根町	195	195	195
	与謝野町	691	691	691
	集計	2,948	2,948	2,948
	総計	17,251,262	17,545,042	19,154,146

(2) 特徴

- ・災害廃棄物は、冬の18時が最大となり1,920万トンである。この要因は、建物の全壊や焼失等に伴う廃棄物が最も多くなるためである。
- ・京都市では、冬の18時で災害廃棄物の発生量が1,680万トンと最も多い。この要因は、建物の全壊や焼失棟数が府内で最も多いためである。
- ・山城広域振興局では、冬の18時で災害廃棄物の発生量が京都市に次いで210万トンと多い。
- ・南丹広域振興局では、災害廃棄物の発生量が22万トンである。
- ・中丹広域振興局では、災害廃棄物の発生量が2.2万トンである。
- ・丹後広域振興局では、災害廃棄物の発生量が3千トンである。

2.8 その他被害

2.8.1 エレベータ内閉じ込め

(1) 想定結果

- ・エレベータ内閉じ込め被害として、エレベータの故障台数と故障率を算定した。
- ・結果は以下のとおりである。

表 2.8-1 エレベータ内閉じ込め（広域振興局）

行政区分	エレベータ内閉じ込め		
	推定設置台数 台	故障台数 台	故障率 %
京都市	10,000	800	7.6%
山城広域振興局	4,900	300	5.5%
南丹広域振興局	900	30	3.8%
中丹広域振興局	1,300	10	0.8%
丹後広域振興局	600	*	0.2%
計	17,700	1,140	6.1%

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値と一致しないことがある。

表 2.8-2 エレベータ内閉じ込め（市区町村）

行政区分		エレベータ内閉じ込め		
		推定設置台数 台	故障台数 台	故障率 %
京都市	北区	814	65	8.0%
	上京区	582	51	8.8%
	左京区	1,153	98	8.5%
	中京区	767	66	8.6%
	東山区	254	23	9.2%
	山科区	938	73	7.8%
	下京区	575	49	8.5%
	南区	708	56	7.9%
	右京区	1,403	80	5.7%
	西京区	1,041	69	6.7%
	伏見区	1,930	147	7.6%
	集計	10,165	777	7.6%
山城広域振興局	宇治市	1,247	74	5.9%
	城陽市	518	29	5.7%
	向日市	395	29	7.4%
	長岡京市	560	38	6.8%
	八幡市	489	24	5.0%
	京田辺市	512	25	4.9%
	木津川市	541	20	3.6%
	大山崎町	111	6	5.8%
	久御山町	106	8	7.3%
	井手町	51	3	5.0%
	宇治田原町	62	3	4.4%
	笠置町	8	0	2.0%
	和束町	24	0	1.8%
	精華町	251	9	3.7%
	南山城村	17	0	2.1%
	集計	4,892	269	5.5%
南丹広域振興局	亀岡市	598	27	4.4%
	南丹市	220	6	2.8%
	京丹波町	90	2	1.8%
	集計	908	34	3.8%
中丹広域振興局	福知山市	537	2	0.3%
	舞鶴市	558	8	1.4%
	綾部市	221	1	0.6%
	集計	1,316	11	0.8%
丹後広域振興局	宮津市	116	0	0.3%
	京丹後市	353	0	0.1%
	伊根町	13	0	0.1%
	与謝野町	140	0	0.3%
	集計	622	1	0.2%
総計		17,903	1,092	6.1%

(2) 特徴

- ・エレベータの故障台数は、府全域で 1,100 台、故障率は 6%であった。
- ・エレベータは震度 5 弱以上の揺れで故障の可能性があるため、府内の広い範囲でエレベータの故障が発生している。
- ・京都市では、エレベータの故障台数が 800 台と最も多い。この要因は、地震による揺れが最も大きいためである。
- ・山城広域振興局では、エレベータの故障台数が京都市に次いで 300 台と多い。
- ・南丹広域振興局では、エレベータの故障台数が 30 台である。
- ・中丹広域振興局では、エレベータの故障台数が 10 台である。
- ・丹後広域振興局では、エレベータの故障台数が若干数である。

2.8.2 文化財

(1) 想定結果

- ・文化財被害として、震度 6 強以上の揺れと焼失の可能性が高い地域（焼失率 20%以上）に位置する文化財を抽出した。
- ・結果は以下のとおりである。

表 2.8-3 文化財（広域振興局）

行政区分	文化財																							
	国宝		重要文化財		登録有形文化財			府指定文化財		府登録文化財		市町村指定文化財		市町村登録文化財		市町村登録文化財		世界遺産		重要伝統的建造物群保存地区		計		
	総数	揺れ	総数	揺れ	総数	揺れ	焼失	総数	揺れ	総数	揺れ	総数	揺れ	総数	揺れ	総数	揺れ	総数	揺れ	総数	揺れ	焼失		
京都市	43	33	176	136	452	386	4	49	30	8	5	77	57	27	20	0	0	14	6	4	3	850	676	4
山城広域振興局	6	3	45	32	26	20	0	28	24	33	22	34	22	1	1	0	0	2	2	0	0	175	126	0
南丹広域振興局	0	0	17	5	8	4	0	16	4	18	4	27	7	0	0	0	0	0	0	1	0	87	24	0
中丹広域振興局	1	0	7	0	16	3	0	18	0	13	0	28	0	0	0	9	0	0	0	0	0	92	3	0
丹後広域振興局	0	0	5	0	8	0	0	15	0	9	0	13	0	0	0	0	0	0	0	2	0	52	0	0
計	50	36	250	173	510	413	4	126	58	81	31	179	86	28	21	9	0	16	8	7	3	1,256	829	4

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値及び京都市の結果と一致しないことがある。syuu

表 2.8-4 文化財（市区町村）

行政区分	文化財																								
	国宝		重要文化財		登録有形文化財			府指定文化財		府登録文化財		市町村指定文化財		市町村登録文化財		市町村登録文化財		世界遺産		重要伝統的建造物群保存地区		計			
	総数	揺れ	総数	揺れ	総数	揺れ	焼失	総数	揺れ	総数	揺れ	総数	揺れ	総数	揺れ	総数	揺れ	総数	揺れ	総数	揺れ	焼失			
京都市	5	4	24	22	72	53	4	4	4	2	1	6	5	3	1	0	0	2	1	1	1	119	92	4	
上京区	2	2	13	13	78	78	0	6	6	0	0	10	10	2	2	0	0	0	0	0	0	111	111	0	
左京区	4	2	26	19	83	76	0	4	4	2	2	9	6	2	1	0	0	2	1	0	0	132	111	0	
中京区	1	1	5	5	60	60	0	0	0	0	0	12	12	5	5	0	0	1	1	0	0	84	84	0	
東山区	9	8	45	42	40	39	0	10	10	2	2	10	10	2	2	0	0	1	0	2	2	121	115	0	
山科区	0	0	2	1	12	12	0	1	0	0	0	5	2	1	1	0	0	0	0	0	0	21	16	0	
下京区	7	7	11	11	38	38	0	0	0	0	0	6	6	3	3	0	0	1	1	0	0	66	66	0	
南区	5	5	9	9	4	4	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	20	20	0	
右京区	3	0	21	0	38	2	0	19	3	2	0	9	0	3	0	0	0	4	0	1	0	100	5	0	
西京区	0	0	3	0	3	0	0	3	2	0	0	4	1	2	1	0	0	1	0	0	0	16	4	0	
伏見区	7	4	17	14	24	24	0	2	1	0	0	5	4	4	4	0	0	1	1	0	0	60	52	0	
集計	43	33	176	136	452	386	4	49	30	8	5	77	57	27	20	0	0	14	6	4	3	850	676	4	
山城広域振興局	2	2	10	10	0	0	0	10	9	3	3	4	2	0	0	0	0	2	2	0	0	31	28	0	
城陽市	0	0	3	3	2	2	0	0	0	3	3	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	13	13	0	
向日市	0	0	1	1	4	4	0	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8	0	
長岡京市	0	0	0	0	6	6	0	1	1	1	0	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	13	11	0	
八幡市	1	0	4	3	1	1	0	5	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	10	0	
京田辺市	0	0	5	5	0	0	0	1	1	5	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	12	10	0	
木津川市	2	0	13	6	2	1	0	5	3	7	5	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	35	18	0	
大山崎町	1	1	3	1	6	1	0	0	0	1	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	15	5	0	
久御山町	0	0	1	1	5	5	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7	0	
井手町	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	
宇治田原町	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	3	9	5	1	1	0	0	0	0	0	0	14	10	0	
笠置町	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	
和束町	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	
精華町	0	0	2	2	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	3	0	
南山城村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	
集計	6	3	45	32	26	20	0	28	24	33	22	34	22	1	1	0	0	2	2	0	0	175	126	0	
南丹広域振興局	0	0	7	4	3	3	0	7	4	6	4	9	5	0	0	0	0	0	0	0	0	32	20	0	
南丹市	0	0	6	1	5	1	0	7	0	8	0	15	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	42	4	0
京丹波町	0	0	4	0	0	0	0	2	0	4	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	
集計	0	0	17	5	8	4	0	16	4	18	4	27	7	0	0	0	0	0	0	0	1	0	87	24	0
中丹広域振興局	0	0	1	0	5	0	0	5	0	4	0	15	0	0	0	9	0	0	0	0	0	39	0	0	
福知山市	0	0	4	0	9	3	0	8	0	3	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	3	0	
舞鶴市	1	0	2	0	2	0	0	5	0	6	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	0	0	
集計	1	0	7	0	16	3	0	18	0	13	0	28	0	0	0	9	0	0	0	0	0	92	3	0	
丹後広域振興局	0	0	2	0	4	0	0	7	0	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	0	0	
宮津市	0	0	3	0	3	0	0	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	
京丹後市	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	
伊根町	0	0	0	0	0	0	0	3	0	2	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	14	0	
与謝野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	
集計	0	0	5	0	8	0	0	15	0	9	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	52	0	0
総計	50	36	250	173	510	413	4	126	58	81	31	179	86	28	21	9	0	16	8	7	3	1,256	829	4	

(2) 特徴

- ・震度 6 強以上の揺れが想定される文化財は 830 件、焼失の可能性が高い地域に存在する文化財は 4 棟であった。
- ・京都市では、震度 6 強以上の揺れが想定される文化財は 680 件、焼失の可能性が高い地域（焼失率 20%以上）に存在する文化財は 4 件である。
- ・山城広域振興局では、震度 6 強以上の揺れが想定される文化財は 120 件である。
- ・南丹広域振興局では、震度 6 強以上の揺れが想定される文化財は 20 件である。

- ・中丹広域振興局では、震度 6 強以上の揺れが想定される文化財は 3 件である。
- ・丹後広域振興局では、震度 6 強以上の揺れが想定される文化財は存在しない。

2.8.3 社会経済活動の中核機能への影響

- ・社会経済活動の中核機能への影響の経済的被害は、京都府の北部・南部地域の特性を考慮して検討する。結果は以下のとおりである。

表 2.8-5 社会経済活動の中核機能への影響

想定ケース	社会経済活動の中核機能への影響																																																						
府庁・市町村の災害対応能力の低下	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方公共団体の災害対策本部が機能せず、政府や他地方公共団体等による人的・物的資源が支援されるまでの間は地域の災害復旧対策がほとんど進まなくなる。 ・ 府や市町村の中核的機能が喪失した場合には、上位機関による行政機能の代行が必要となり、人的資源が駆り出され、長期間人材不足になるため、災害復旧対策に多大な影響を及ぼす。 ・ 職員の不足や室内の混乱、PC やサーバーの不調等により、災害対応の中核としての機能が低下する。 ・ 警察・消防等の指揮命令系統や、従来の災害時に実施してきた災害対応について、後方支援がスムーズに機能せず、迅速な対応の遅れにつながる。 																																																						
京都府南部の企業機能の損失	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都府南部の特徴は以下のとおりである。 <ul style="list-style-type: none"> ● 京都市：京都府経済の中核であり、伝統産業から先端産業まで様々な産業を輩出するとともに、食品産業も長い歴史を誇っている。 ● 山城地域：運輸交通条件にも優れているため、京阪神大都市圏の拡大に伴い、機械金属業、食料品製造業等のものづくり産業のほか、物流関連産業等が多数立地している。 ・ 京都市、山城地域に府内の 8 割の事業所が集中しており、花折断層帯で地震が発生した場合は、京都府経済に与える影響は甚大なものとなる。 ・ 府南部で被災した企業が本社の場合、決済等の本社機能が喪失したために、被災地外の支店においても事業が停止し、企業全体の収益の低下につながる。 ・ 府北部の工業地帯には直接の被害はないが、府南部が被災することで原材料の供給や製品の物流に大きな影響を及ぼす。 <p>表10 地域別の事業所数及び従業者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地域</th> <th colspan="4">令和3年</th> </tr> <tr> <th>事業所数</th> <th>構成比 (%)</th> <th>従業者数 (人)</th> <th>構成比 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>京都府</td> <td>108,368</td> <td>100.0</td> <td>1,139,827</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td> 丹後地域</td> <td>6,062</td> <td>5.6</td> <td>36,769</td> <td>3.2</td> </tr> <tr> <td> 中丹地域</td> <td>8,490</td> <td>7.8</td> <td>80,521</td> <td>7.1</td> </tr> <tr> <td> 南丹地域</td> <td>4,990</td> <td>4.6</td> <td>43,859</td> <td>3.8</td> </tr> <tr> <td> 京都市域</td> <td>67,866</td> <td>62.6</td> <td>739,305</td> <td>64.9</td> </tr> <tr> <td> 山城地域</td> <td>20,960</td> <td>19.3</td> <td>239,373</td> <td>21.0</td> </tr> <tr> <td> 乙訓地域</td> <td>4,563</td> <td>4.2</td> <td>52,912</td> <td>4.6</td> </tr> <tr> <td> 山城中部地域</td> <td>13,327</td> <td>12.3</td> <td>156,942</td> <td>13.8</td> </tr> <tr> <td> 相楽地域</td> <td>3,070</td> <td>2.8</td> <td>29,519</td> <td>2.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>※出典：令和3年 経済センサス-活動調査結果（速報）_京都府の概要</p>	地域	令和3年				事業所数	構成比 (%)	従業者数 (人)	構成比 (%)	京都府	108,368	100.0	1,139,827	100.0	丹後地域	6,062	5.6	36,769	3.2	中丹地域	8,490	7.8	80,521	7.1	南丹地域	4,990	4.6	43,859	3.8	京都市域	67,866	62.6	739,305	64.9	山城地域	20,960	19.3	239,373	21.0	乙訓地域	4,563	4.2	52,912	4.6	山城中部地域	13,327	12.3	156,942	13.8	相楽地域	3,070	2.8	29,519	2.6
地域	令和3年																																																						
	事業所数	構成比 (%)	従業者数 (人)	構成比 (%)																																																			
京都府	108,368	100.0	1,139,827	100.0																																																			
丹後地域	6,062	5.6	36,769	3.2																																																			
中丹地域	8,490	7.8	80,521	7.1																																																			
南丹地域	4,990	4.6	43,859	3.8																																																			
京都市域	67,866	62.6	739,305	64.9																																																			
山城地域	20,960	19.3	239,373	21.0																																																			
乙訓地域	4,563	4.2	52,912	4.6																																																			
山城中部地域	13,327	12.3	156,942	13.8																																																			
相楽地域	3,070	2.8	29,519	2.6																																																			

2.8.4 複合災害

- ・地震発生前後に風水害が発生した場合に懸念される事項を想定した。
- ・結果は以下のとおりである。

表 2.8-6 複合災害

想定ケース	複数の自然災害の同時発生による想定される被害
地震後に風水害が発生した場合	<ul style="list-style-type: none"> ・揺れ・液状化により機能低下した河川管理施設等が、台風や集中豪雨による洪水等を防ぎきれず、建物被害や死傷者が増加する。 ・地震により弱体化していた建物が暴風により全壊するなど、大きな被害が発生する。 ・激しい揺れにより崩壊、又は緩んでいた斜面や造成宅地が、大雨により崩壊する。 ・雨水ポンプ場等の流下・排水施設が地震の揺れや停電の影響により機能せず、避難所等を含む生活空間に浸水被害が発生する可能性がある。
風水害後に地震が発生した場合	<ul style="list-style-type: none"> ・強風や氾濫流などによって構造耐力が低下した建物が、地震動により倒壊する可能性がある。 ・水害により浸水した地域で、地震による火災が発生すると、自宅に留まっていた人が逃げられなくなったり、消火活動が行えなくなる可能性がある。 ・豪雨により地盤が緩んでいる状況で地震に見舞われると、がけ崩れ、出水等が発生し、道路が寸断される。 ・避難所の倒壊や屋内落下物等により人的被害が拡大する。

2.9 防災・減災対策の効果の試算

京都府の住宅耐震化率は、令和2年度の推計で88%であり、令和7年度の耐震化率目標値を95%としている。本検討では、耐震化率95%を目標として建物耐震化による減災効果を推計した。

今回算定した建物被害は、耐震化率88%の下で得られたものとみなし、全て耐震化(耐震化率100%)した場合の建物被害を計算し、比例配分により95%における減災効果の推定値とした。

耐震化率を100%とした場合の計算方法としては、旧耐震基準(1980年(昭和55年)以前)の建物が全て現行基準の耐震性を有するとみなして、最新の被害率曲線を適用することにより算出した。

人的被害は、耐震化率95%と現況の全壊棟数、半壊棟数の比率より、死者数、負傷者数を算定した。

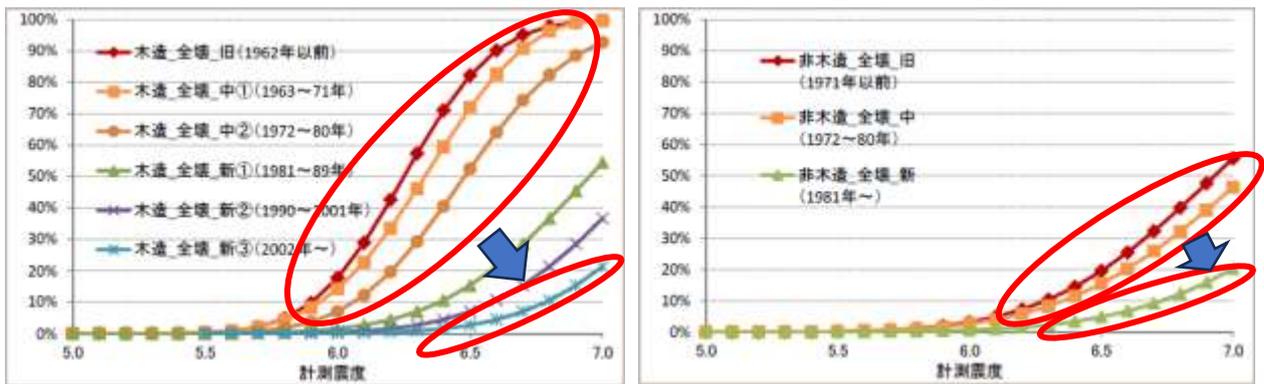


図 2.9-1 建物の全壊率曲線(内閣府(2013)に加筆)

表 2.9-1 建物被害の耐震化による減災効果

	現況			耐震化95%		減災効果	
	建物棟数	全壊	半壊	全壊	半壊	全半壊	削減比率
	棟	棟	棟	棟	棟	棟	
京都市	627,000	100,000	111,000	62,000	79,000		
山城広域振興局	331,000	9,800	30,000	6,900	24,000		
南丹広域振興局	132,000	800	5,600	500	2,000		
中丹広域振興局	187,000	100	400	50	200		
丹後広域振興局	96,000	10	50	*	20		
計	1,373,000	110,710	147,050	69,450	105,220	83,090	約3割減

表 2.9-2 死者数の耐震化による減災効果

	現況			耐震化95%		
	冬5時	夏12時	冬18時	冬5時	夏12時	冬18時
	人	人	人	人	人	人
京都市	4,000	2,600	4,100	2,700	1,900	3,200
山城広域振興局	500	200	400	400	200	300
南丹広域振興局	50	20	30	30	10	20
中丹広域振興局	10	*	*	10	*	*
丹後広域振興局	*	*	*	*	*	*
計	4,560	2,820	4,530	3,140	2,110	3,520
減災効果	人	人	人	削減比率		
	1,420	710	1,010	約2割~3割減		

表 2.9-3 負傷者数の耐震化による減災効果

	現況			耐震化95%		
	冬5時	夏12時	冬18時	冬5時	夏12時	冬18時
	人	人	人	人	人	人
京都市	26,000	53,000	30,000	19,000	38,000	22,000
山城広域振興局	6,700	3,400	4,300	5,300	2,700	3,400
南丹広域振興局	1,100	400	600	400	200	300
中丹広域振興局	30	20	20	20	10	10
丹後広域振興局	*	*	*	*	*	*
計	33,830	56,820	34,920	24,720	40,910	25,710
減災効果	人	人	人	削減比率		
	9,110	15,910	9,210	約2割5分～3割減		